

**令和2年度
江田島市市民満足度調査について**

令和2年8月

江田島市企画部企画振興課

目 次

第 1	アンケート調査の実施概要	1
1	調査の目的	1
2	調査対象	1
3	調査の実施方法	1
4	調査日程	1
5	アンケート回収状況	1
6	集計結果の表記	1
第 2	回答者の属性	2
1	性別	2
2	年齢階層	2
3	居住地	3
4	居住年数	3
5	職業等	4
6	世帯の人数（同居家族）	4
7	65 歳以上人員（同居家族）	5
8	乳児～小学生人員（同居家族）	5
第 3	江田島市や地域・地区の現状, 市の取組について	6
1	今後の重要度と現状の満足度	6
2	江田島市や地域・地区の現状, 市の取組の評価	10
第 4	自由意見	40

第1 アンケート調査の実施概要

1 調査の目的

平成27年3月に策定された「第2次江田島市総合計画」では、「協働と交流で創り出す『恵み多き島』えたじま」を将来像とし、それを実現するための戦略として「市民満足度の高いまちづくり」及び「未来を切り開くまちづくり」を掲げています。

本アンケート調査では、この戦略に基づく江田島市の取組（事務事業）が、実際にどのような効果があるかなどを、市民の皆様の目線で検証し、より実効性のある取組としていくため、毎年度、市民満足度調査を実施し、幅広く市民の意向などを把握することを目的とします。

2 調査対象

16歳以上の江田島市民のうちから、2,000人（無作為抽出）

3 調査の実施方法

前記対象者への無記名アンケート調査方式
郵送による、調査票の配布・回収

4 調査日程

郵送配布：令和2年6月3日（水）
回収締切：令和2年6月17日（水）

5 アンケート回収状況

回収数：678票
回収率：33.9%

表 旧町別回収数及び回収率

区分	配布数（票）	回収数（票）	回収率（%）	参考：令和元年度調査回収率（%）
江田島町	710	264	37.2	38.3
能美町	440	139	31.6	29.5
沖美町	270	82	30.4	32.6
大柿町	580	189	32.6	32.0
無回答	—	4	—	—
合計	2,000	678	33.9	34.0

6 集計結果の表記

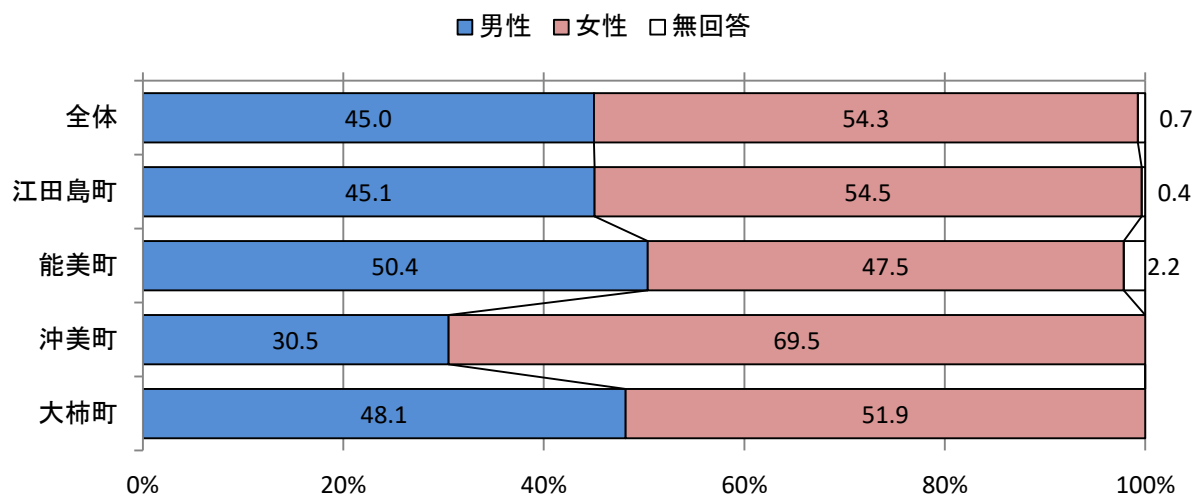
各回答の割合（%）は、少数点以下第2位を四捨五入して表記しているため、端数処理の関係から、各回答の割合（%）の合計が100%にならない場合があります。

第2 回答者の属性

1 性別

回答者の性別は、全体では「女性」が54.3%を占め、「男性」よりも多くなっています。居住地別にみても、沖美町の男女差39.0%を最大として「女性」が多くなる傾向にあります。

図 性別



2 年齢階層

回答者の年齢階層は、全体では「70歳以上」が35.3%で最も多く、次いで「60歳代」が20.6%となり、60歳以上が全体の55.9%を占めています。これは、住民基本台帳（令和2年3月31日時点）の16歳以上人口に占める60歳以上の割合55.5%と比べて0.4%高くなっています。

居住地別にみると、沖美町では「20歳代」が3.7%、「50歳代」が8.5%となり、他の町に比べて少なくなっています。また、大柿町では「70歳以上」が40.2%と多くなっています。

図 年齢階層

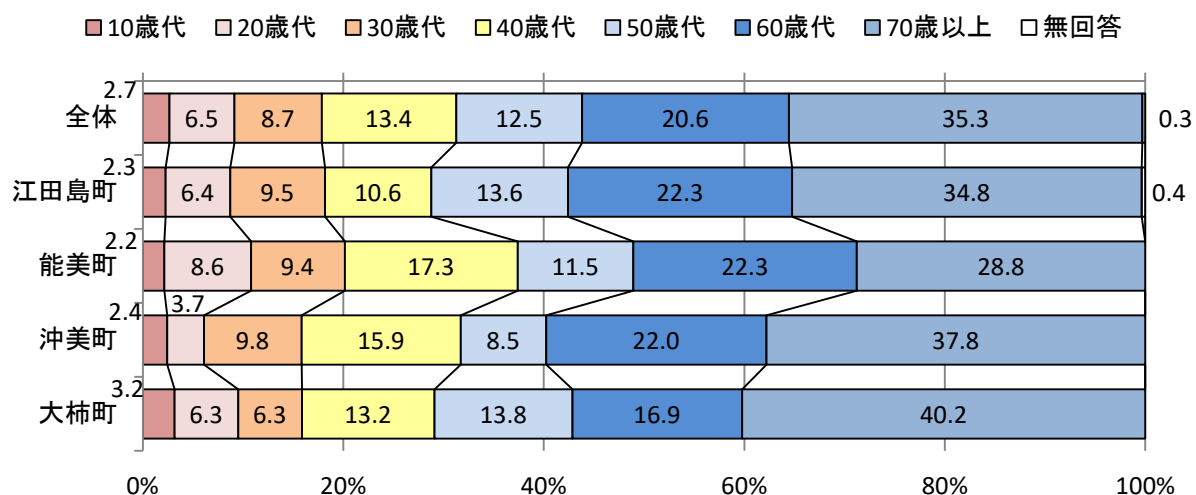


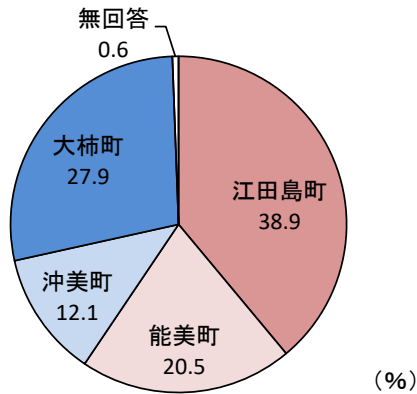
表 参考：江田島市の年齢構成(16歳以上人口)-令和2年3月31日住民基本台帳- 上段：人 下段：%

区分	総人口	16歳以上人口	16~19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
	全市	22,632	20,748	571	1,785	1,961	2,433	2,491	3,498
	—	100.0	2.8	8.6	9.5	11.7	12.0	16.9	38.6

3 居住地

回答者の居住地をみると、「江田島町」が38.9%で最も多く、次いで「大柿町」が27.9%、「能美町」が20.5%、「沖美町」が12.1%となっています。

図 居住地



4 居住年数

回答者の居住年数は、全体では「30年以上」が60.5%と非常に多くなっており、回答者の年齢構成との関係性が伺えます。

居住地別にみると、他の町に比べて沖美町では「5年未満」が14.6%と多く、「20年～30年未満」が7.3%と少なくなっています。また、能美町では、「5年～10年未満」が7.9%と多く、「30年以上」が55.4%と少なくなっています。

図 居住年数

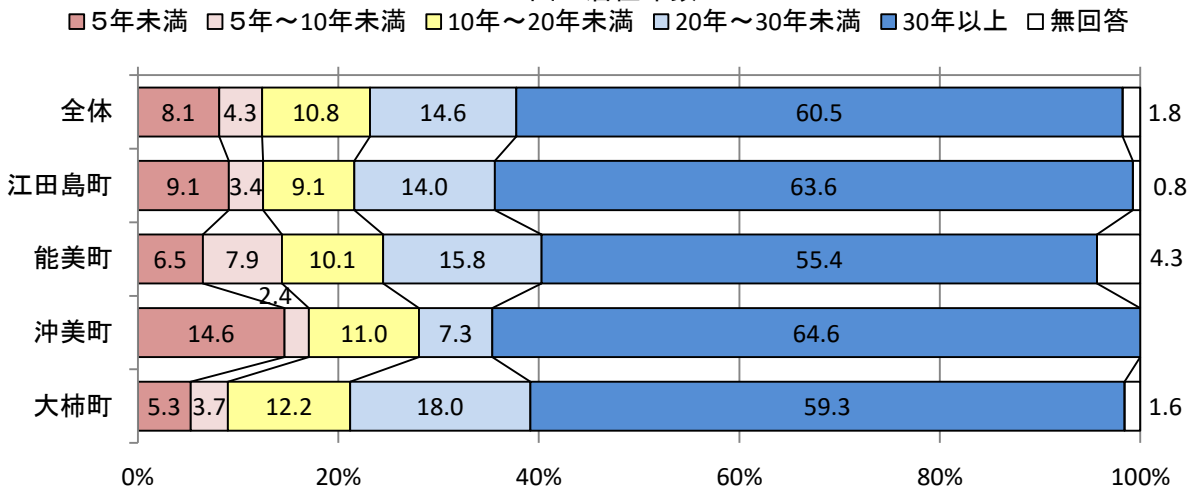


表 居住地

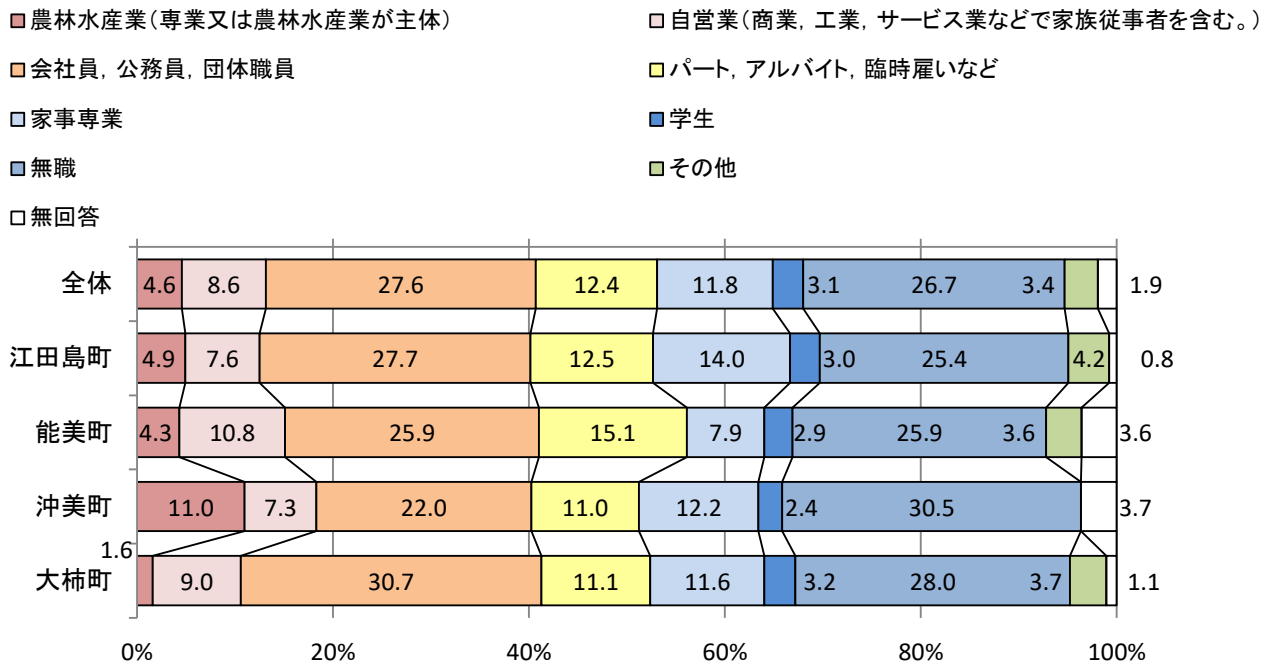
町名・地区別		回答者数 (人)	構成比 (%)
江田島町	中央 (術校含む)	55	8.1
	鷺部	38	5.6
	江南	20	2.9
	秋月	12	1.8
	小用	47	6.9
	切串	54	8.0
	幸ノ浦, 大須	7	1.0
	津久茂	7	1.0
	宮ノ原	24	3.5
小計		264	38.9
能美町	高田	25	3.7
	中町	65	9.6
	鹿川	49	7.2
小計		139	20.5
沖美町	三吉	25	3.7
	高祖	13	1.9
	美能	14	2.1
	岡大王	10	1.5
	畑	5	0.7
	是長	15	2.2
小計		82	12.1
大柿町	深江	24	3.5
	小古江	9	1.3
	大原	67	9.9
	大君	26	3.8
	柿浦	29	4.3
	飛渡瀬	34	5.0
小計		189	27.9
無回答		4	0.6
合計		678	100.0

5 職業等

回答者の職業等は、全体では「会社員、公務員、団体職員」が27.6%で最も多く、次いで「無職」が26.7%、「パート、アルバイト、臨時雇いなど」が12.4%などとなっています。

居住地別にみると、沖美町では「農林水産業（専業又は農林水産業が主体）」が11.0%、「無職」が30.5%と他の町に比べて多くなっています。また、能美町では「家事専業」の割合が7.9%と少なくなっています。

図 職業等

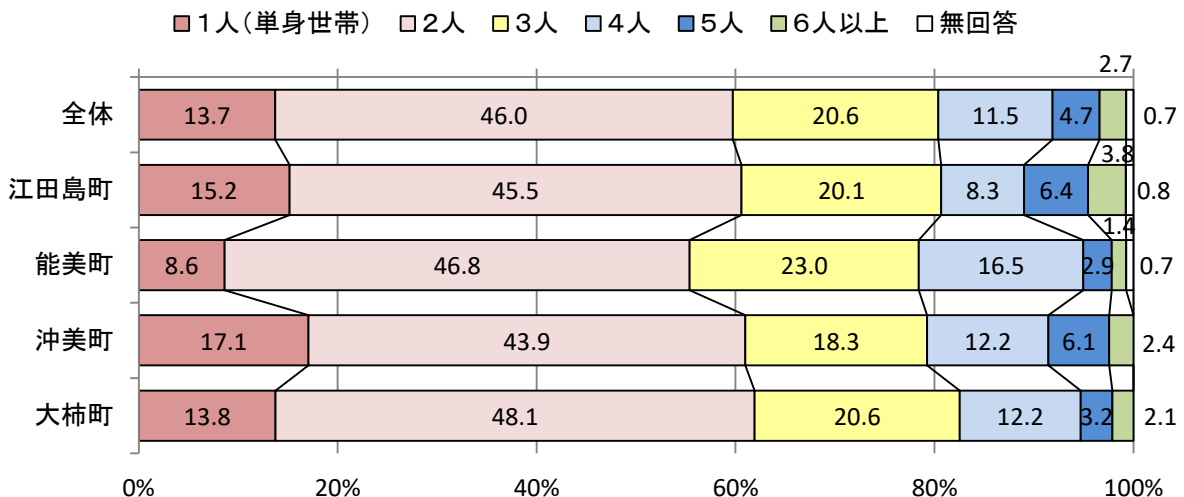


6 世帯の人数（同居家族）

回答者の家族構成は、全体では「2人」が46.0%で最も多く、次いで「3人」が20.6%、「1人（単身世帯）」が13.7%などとなっています。

居住地別にみると、他の町に比べて、能美町では「1人（単身世帯）」が8.6%と少なく、「4人」が16.5%と多くなっています。また、沖美町では「1人（単身世帯）」が17.1%と多く、「3人」が18.3%と少なくなっています。

図 世帯の人数

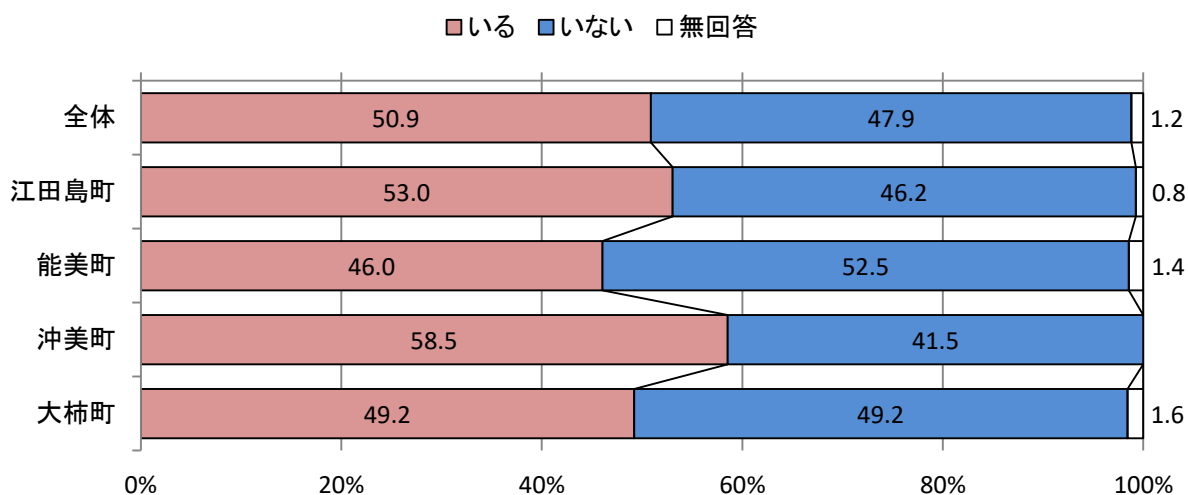


7 65歳以上人員（同居家族）

同居している家族に65歳以上の方がいるかについては、全体では「いる」が50.9%となり、「いない」に比べて3.0%多くなっています。

居住地別にみると、沖美町では「いる」が58.5%と他の町に比べて多くなっています。

図 65歳以上人員（同居家族）の有無

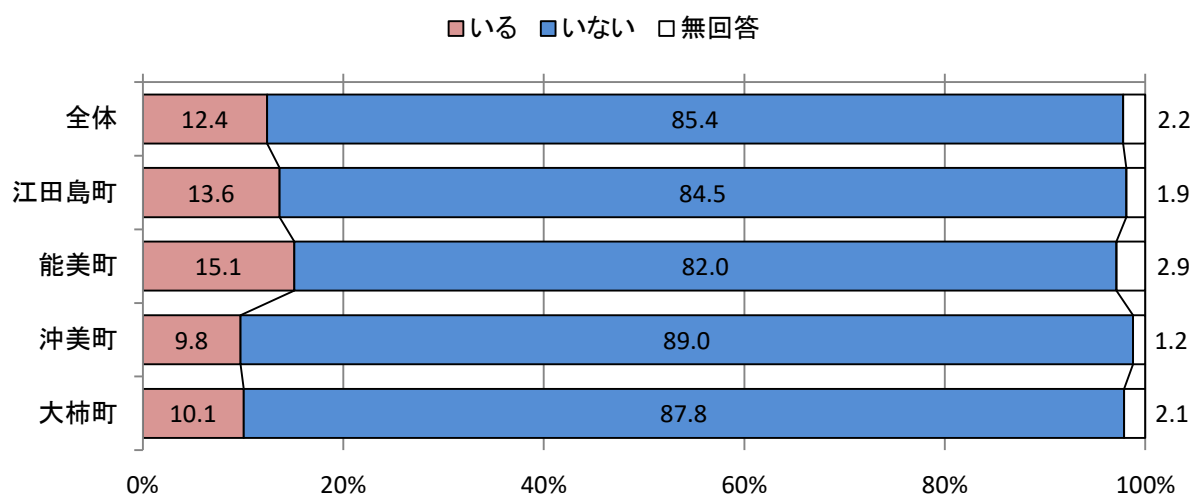


8 乳児～小学生人員（同居家族）

同居している家族に乳児～小学生の方がいるかについては、全体では「いる」が12.4%となっています。

居住地別では、能美町が「いる」が15.1%と他の町に比べて多くなっています。

図 乳児～小学生人員（同居家族）の有無



第3 江田島市や地域・地区の現状, 市の取組について

1 今後の重要度と現状の満足度

問2 あなたは、江田島市が行っている主要な取組それぞれについて、今後の取組における重要度（重点度）と、現在の状況に対する満足度を、どのように思われますか。
(○印はそれぞれ1つ)

江田島市や地域・地区の現状、市の取組について、今後の重要度と現状の満足度の高い項目順にまとめました（7頁）。

今後の重要度（「特に重要」又は「重要」と答えた割合）が高いのは、「学校教育の内容（小中学校）」84.4%、「大規模災害などに備えた危機管理体制の構築」83.0%、「医療機関の充実」81.3%となり、この3項目が80%を超えています。

その他で70%を超えている項目は、「救急体制の充実・強化」、「学校と地域・家庭との信頼関係」、「避難所などの整備」、「介護サービスの充実」、「防災対策（河川・急傾斜地）」、「地域防災活動への支援」、「消防体制の充実・強化」、「高齢者福祉・介護施設の整備」、「高齢者福祉サービスの充実」です。

一方で、重要度が40%未満は、「国際化・多文化共生の推進」34.6%、「都市との交流の促進」38.3%、「地域活動拠点の整備」38.8%の3項目であり、いずれも地域に関する部門に属し、重要度が低くなっています。

現状に対する満足度（「とても満足」又は「満足」と答えた割合）が高いのは、「学校施設の整備」21.6%、「保育園・児童館などの整備」20.0%、「救急体制の充実・強化」17.0%などとなっています。

その他で10%を超えている項目は、「市役所・市民センターなどの窓口対応」、「上水道の整備」、「消防体制の充実・強化」、「学校教育の内容（小中学校）」、「学校と地域・家庭との信頼関係」、「子育て支援サービスの充実」、「ゴミ対策・リサイクルの推進」、「下水道の整備」、「保健・健康づくりサービスの充実」、「生涯学習活動の支援」、「公民館など社会教育施設の整備」、「火災予防の推進」、「都市との交流の促進」、「伝統文化・文化財の保護」、「医療機関の充実」、「防犯・交通安全の確保」、「スポーツ・レクリエーションの普及・振興」です。

一方で、満足度が4%未満となっているのは、「企業誘致の推進」3.3%、「農林業の後継者・担い手の育成」3.3%、「宿泊・観光施設の整備」3.7%、「労働者福祉の向上」3.7%、「創業・起業への支援」3.8%、「計画的な土地利用」3.9%の6項目となっています。

図 江田島市や地域・地区の現状、市の取組についての今後の重要度 (特に重要+重要)

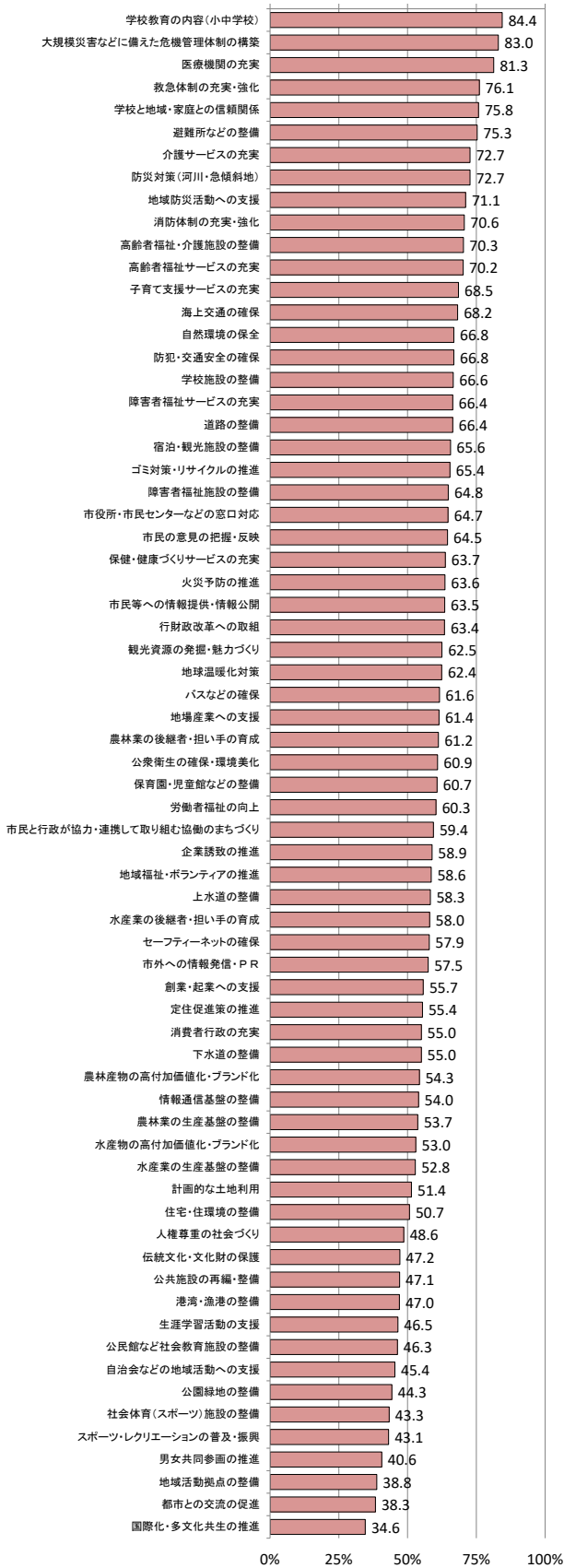
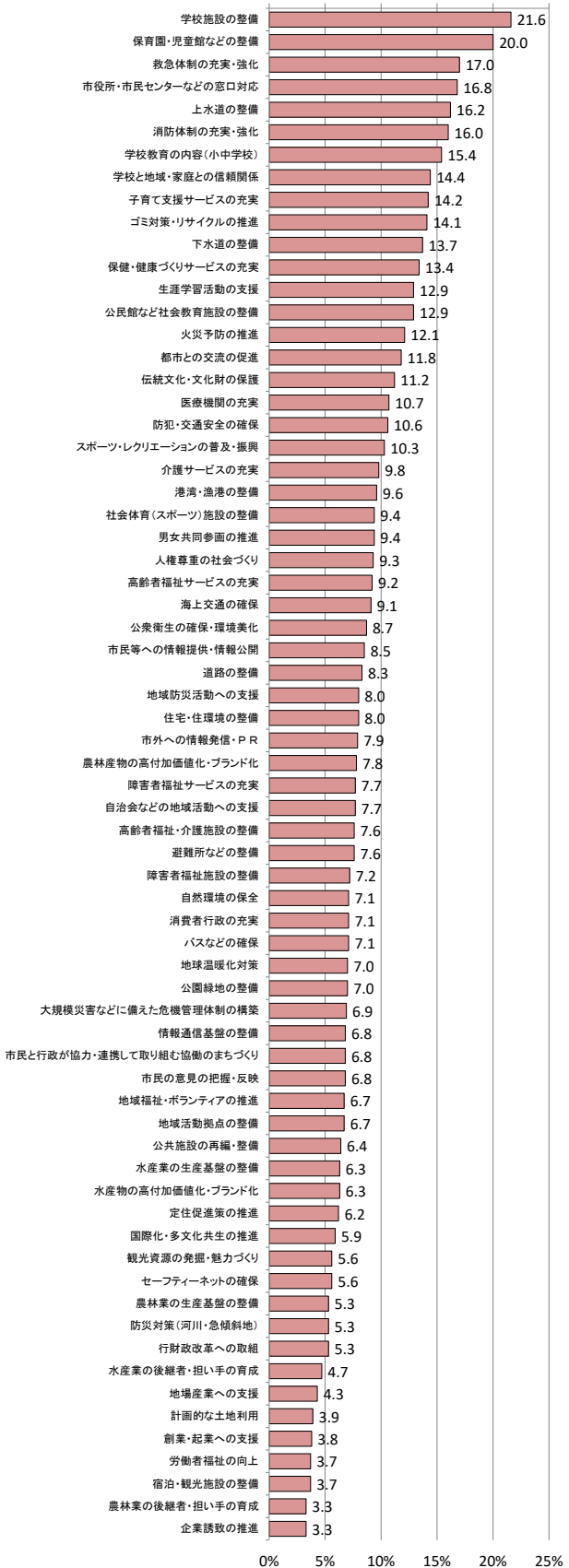
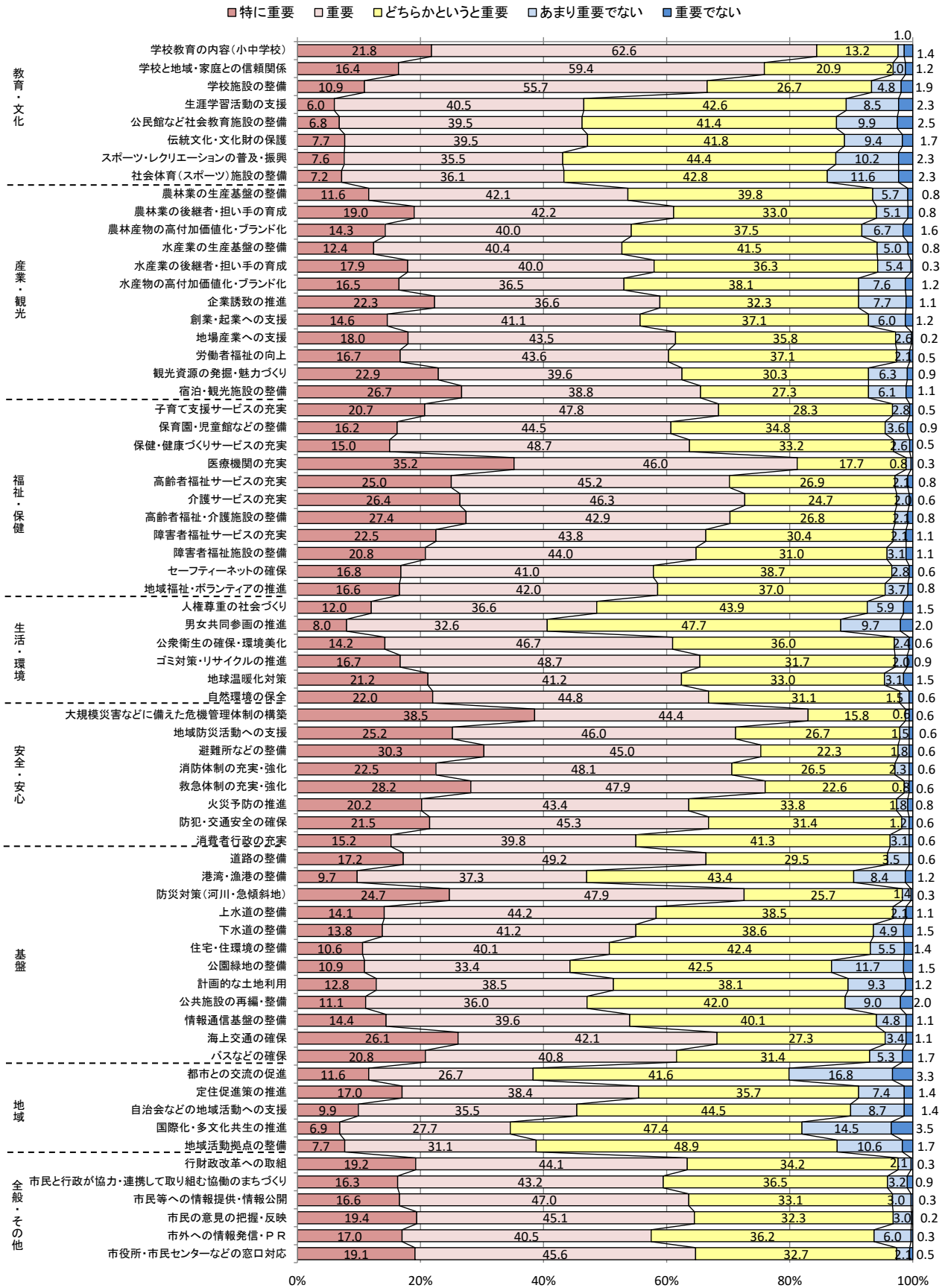


図 江田島市や地域・地区の現状、市の取組についての現状の満足度 (とても満足+満足)



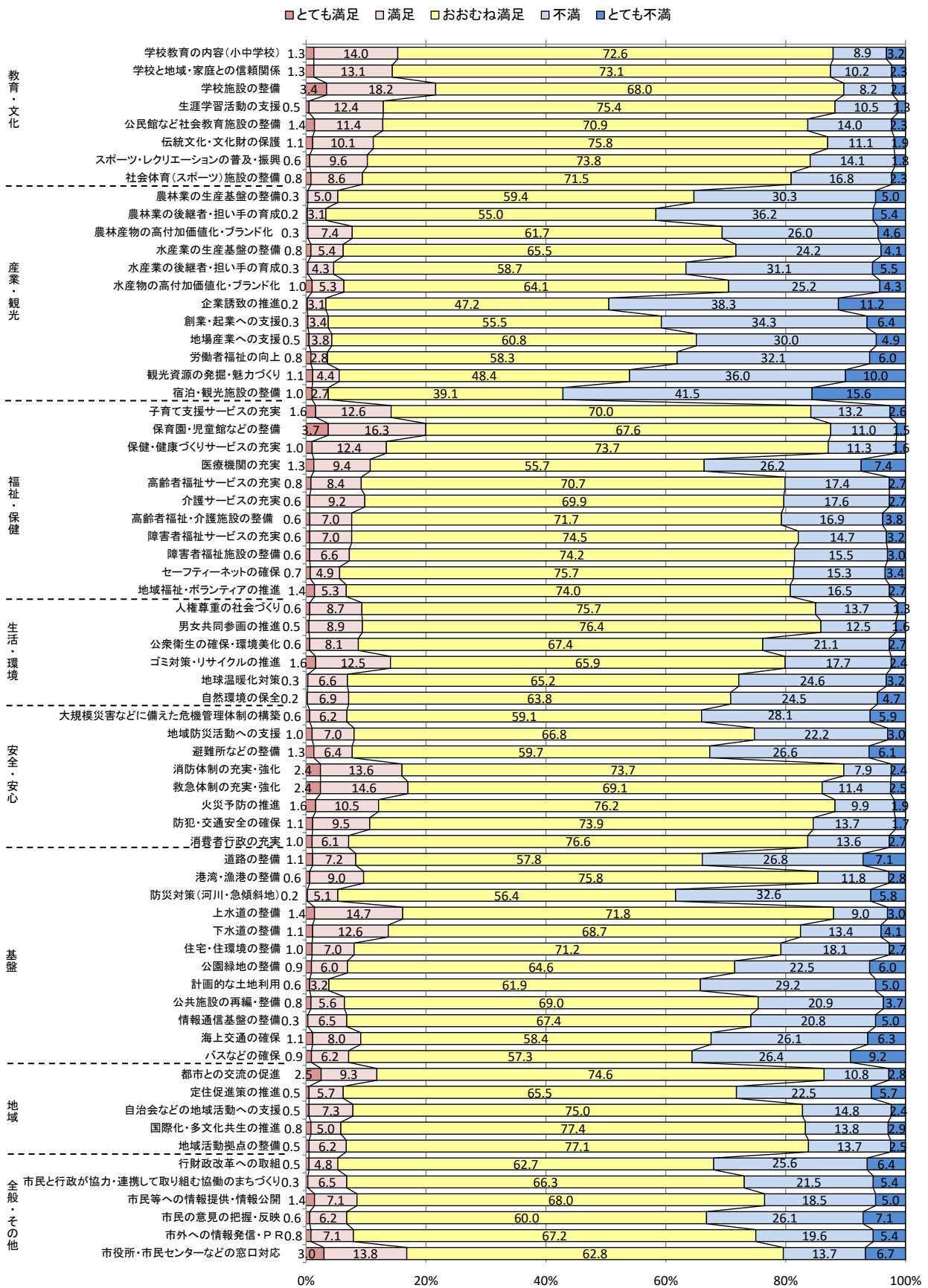
注：無回答を除く割合

参考図 江田島市や地域・地区の現状,市の取組についての今後の重要度・・・部門別



注：無回答を除く割合

参考図 江田島市や地域・地区の現状,市の取組についての現状の満足度・・・部門別



注：無回答を除く割合

2 江田島市や地域・地区の現状, 市の取組の評価

ここでは、市民アンケート調査により、重要度（市民重要度）と満足度（市民満足度）について、測定可能な定量（数値：ポイント・点）を算出することで、部門別、項目別の評価を行います。

回答1件当たりに次のとおり配点し、その合計値÷有効回答数を「ポイント・点」とします。

注：無回答の調査票はポイント算出の対象としない

重要度ポイント (市民重要度)	特に重要	100点
	重要	80点
	どちらかという重要	60点
	あまり重要でない	40点
	重要でない	20点

満足度ポイント (市民満足度)	とても満足	100点
	満足	80点
	おおむね満足	60点
	不満	40点
	とても不満	20点

(1) 重要度ポイント, 満足度ポイント

江田島市や地域・地区の現状, 市の取組における重要度ポイントとしては、「大規模災害などに備えた危機管理体制の構築」が83.9点と最も高くなっています。

その他では、「医療機関の充実」83.0点、「学校教育の内容（小中学校）」80.5点、「避難所などの整備」80.5点、「救急体制の充実・強化」80.5点となり、これらの4項目が80点を超えています。

一方で、「国際化・多文化共生の推進」が64.0点で最も低く、次いで「都市との交流の促進」65.3点、「地域活動拠点の整備」66.5点、「社会体育（スポーツ）施設の整備」66.9点などとなっています。これらは、地域又は教育・文化に関する部門に属しており、重要度が低くなっています。

江田島市や地域・地区の現状, 市の取組における満足度ポイントとしては、「学校施設の整備」が62.5点で最も高くなっています。次いで「保育園・児童館などの整備」62.0点、「消防体制の充実・強化」が61.1点、「救急体制の充実・強化」が60.6点、「上水道の整備」が60.5点、「学校教育の内容（小中学校）」が60.3点、「学校と地域・家庭との信頼関係」が60.2点、「生涯学習活動の支援」が60.1点、「保健・健康づくりサービスの充実」が60.0点、「火災予防の推進」が60.0点となり、これら10項目が60点を超えています。

その他では、「都市との交流の促進」59.6点、「伝統文化・文化財の保護」59.5点、「子育て支援サービスの充実」59.5点、「公民館など社会教育施設の整備」59.2点となり、この4項目が59点を超えています。

一方で、「宿泊・観光施設の整備」が46.4点で最も低く、次いで「企業誘致の推進」48.5点となり、これらの2項目が50点を下回っており、産業・観光に関する部門で、満足度が低くなっています。

図 江田島市における重要度ポイント

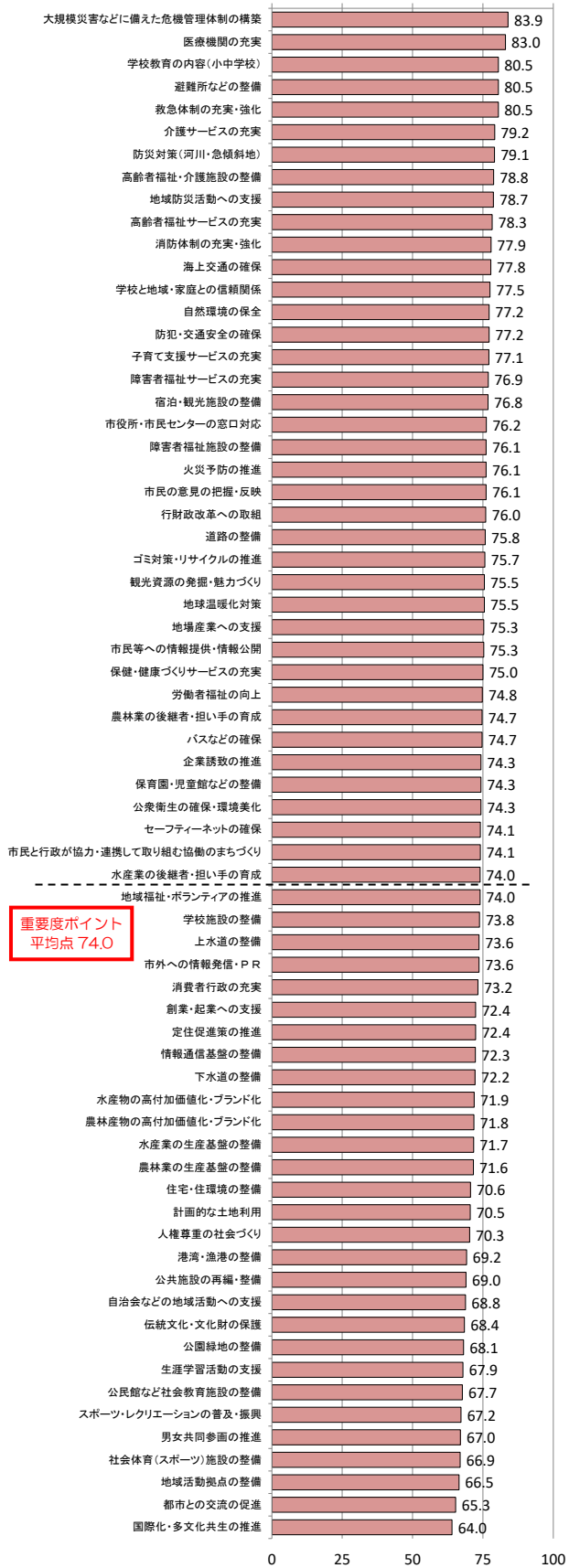
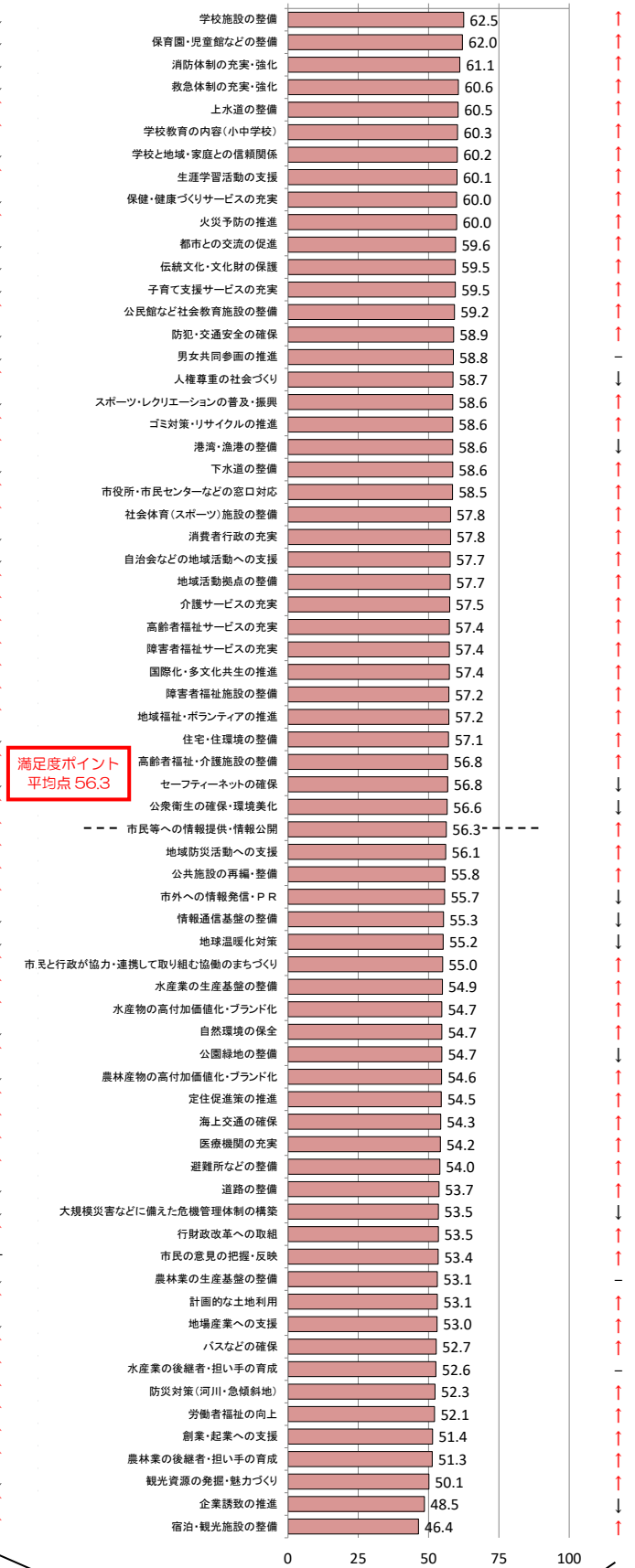
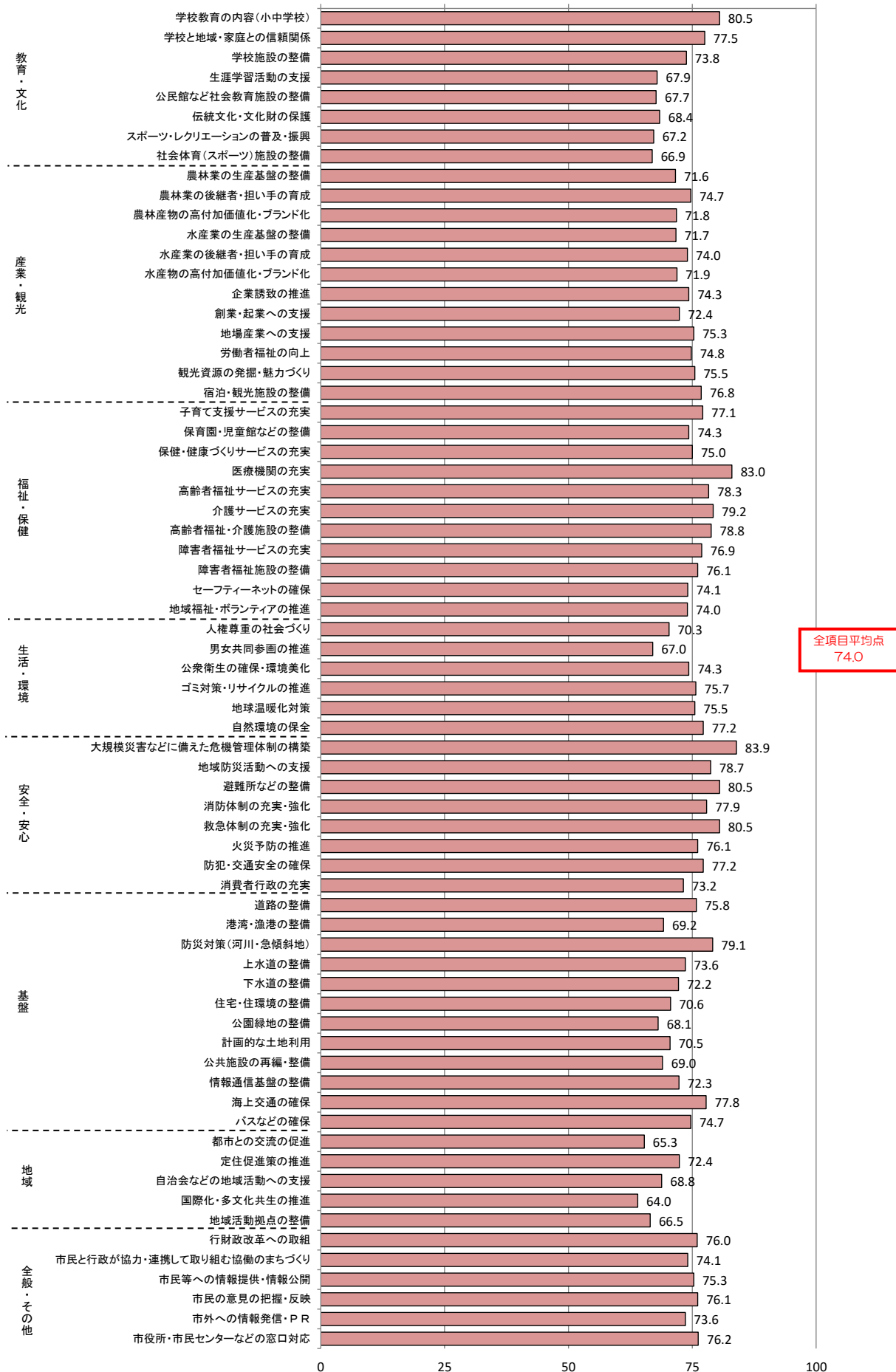


図 江田島市における満足度ポイント



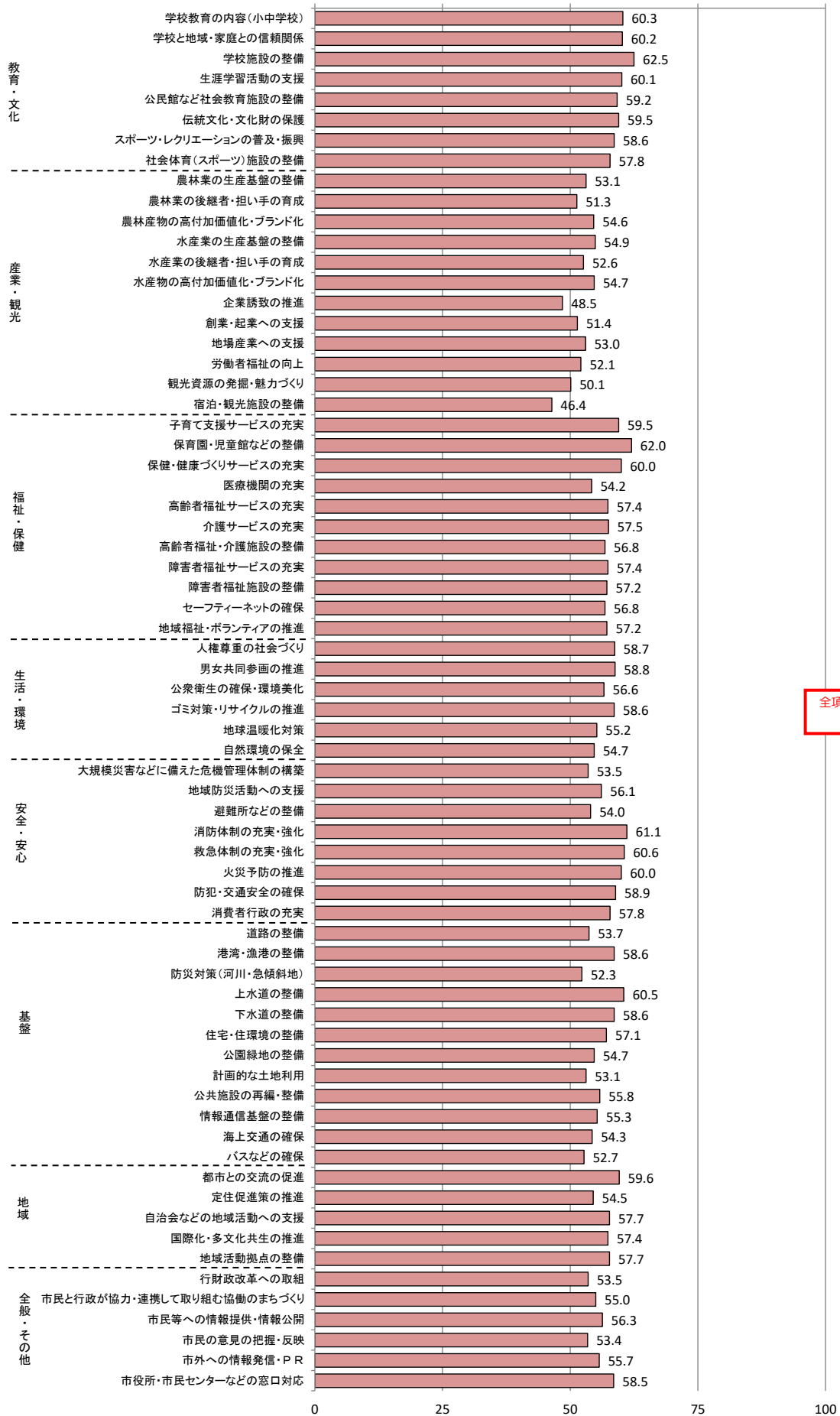
昨年度調査との比較(増減状況)

参考図 江田島市における重要度ポイント（市民重要度）・・・部門別



全項目平均点
74.0

参考図 江田島市における満足度ポイント（市民満足度）・・・部門別



全項目平均点
56.3

重要度ポイント、満足度ポイントを前回調査（令和元年度）と比較すると、重要度ポイントが増加したものは、「水産物の高付加価値化・ブランド化」1.9点、「介護サービスの充実」1.9点、「地域福祉・ボランティアの推進」1.9点、「都市との交流の促進」1.7点、「障害者福祉サービスの充実」1.6点、「行財政改革への取組」1.6点などとなっています。

一方、重要度ポイントが減少したものは、「バスなどの確保」▲2.2点、「道路の整備」▲1.9点、「海上交通の確保」▲1.8点、「学校と地域・家庭との信頼関係」▲1.5点、「防災対策（河川・急傾斜地）」▲1.3点、「宿泊・観光施設の整備」▲1.3点など、基盤の部門に集中しています。

表 重要度ポイントの変化量 (点)

順位	項目（設問）		変化量	令和元年	令和2年
1	産業・観光	水産物の高付加価値化・ブランド化	1.9	70.0	71.9
	福祉・保健	介護サービスの充実	1.9	77.3	79.2
	福祉・保健	地域福祉・ボランティアの推進	1.9	72.1	74.0
4	地域	都市との交流の促進	1.7	63.6	65.3
5	福祉・保健	障害者福祉サービスの充実	1.6	75.3	76.9
	全般・その他	行財政改革への取組	1.6	74.4	76.0
63	産業・観光	宿泊・観光施設の整備	▲1.3	78.1	76.8
	基盤	防災対策（河川・急傾斜地）	▲1.3	80.4	79.1
65	教育・文化	学校と地域・家庭との信頼関係	▲1.5	79.0	77.5
66	基盤	海上交通の確保	▲1.8	79.6	77.8
67	基盤	道路の整備	▲1.9	77.7	75.8
68	基盤	バスなどの確保	▲2.2	76.9	74.7

満足度ポイントが増加したものは、「バスなどの確保」3.2点、「伝統文化・文化財の保護」1.8点、「道路の整備」1.7点、「公民館など社会教育施設の整備」1.6点、「宿泊・観光施設の整備」1.6点、「救急体制の充実・強化」1.6点などとなっています。

一方、満足度ポイントが減少したものは、「情報通信基盤の整備」▲1.4点、「公園緑地の整備」▲0.7点、「人権尊重の社会づくり」▲0.6点、「公衆衛生の確保・環境美化」▲0.4点、「地球温暖化対策」▲0.3点など、生活・環境と基盤の部門に分かれています。

表 満足度ポイントの変化量 (点)

順位	項目（設問）		変化量	令和元年	令和2年
1	基盤	バスなどの確保	3.2	49.5	52.7
2	教育・文化	伝統文化・文化財の保護	1.8	57.7	59.5
3	基盤	道路の整備	1.7	52.0	53.7
4	教育・文化	公民館など社会教育施設の整備	1.6	57.6	59.2
	産業・観光	宿泊・観光施設の整備	1.6	44.8	46.4
	安全・安心	救急体制の充実・強化	1.6	59.0	60.6
64	生活・環境	地球温暖化対策	▲0.3	55.5	55.2
65	生活・環境	公衆衛生の確保・環境美化	▲0.4	57.0	56.6
66	生活・環境	人権尊重の社会づくり	▲0.6	59.3	58.7
67	基盤	公園緑地の整備	▲0.7	55.4	54.7
68	基盤	情報通信基盤の整備	▲1.4	56.7	55.3

表 市民満足度調査（令和元年度、令和2年度）による重要度ポイント、満足度ポイントの変化状況

部門	項目(設問)	令和元年度 重要度 ポイント	令和2年度 重要度 ポイント	変化量	令和元年度 満足度 ポイント	令和2年度 満足度 ポイント	変化量
教育・文化	問2-1 学校教育の内容(小中学校)	80.7	80.5	▲ 0.2	59.7	60.3	0.6
	問2-2 学校と地域・家庭との信頼関係	79.0	77.5	▲ 1.5	59.4	60.2	0.8
	問2-3 学校施設の整備	74.1	73.8	▲ 0.3	61.4	62.5	1.1
	問2-4 生涯学習活動の支援	66.7	67.9	1.2	59.2	60.1	0.9
	問2-5 公民館など社会教育施設の整備	67.5	67.7	0.2	57.6	59.2	1.6
	問2-6 伝統文化・文化財の保護	68.6	68.4	▲ 0.2	57.7	59.5	1.8
	問2-7 スポーツ・レクリエーションの普及・振興	67.1	67.2	0.1	57.6	58.6	1.0
	問2-8 社会体育(スポーツ)施設の整備	66.4	66.9	0.5	56.3	57.8	1.5
産業・観光	問2-9 農林業の生産基盤の整備	70.8	71.6	0.8	53.1	53.1	0.0
	問2-10 農林業の後継者・担い手の育成	74.5	74.7	0.2	50.7	51.3	0.6
	問2-11 農林産物の高付加価値化・ブランド化	70.5	71.8	1.3	53.4	54.6	1.2
	問2-12 水産業の生産基盤の整備	70.6	71.7	1.1	54.6	54.9	0.3
	問2-13 水産業の後継者・担い手の育成	73.2	74.0	0.8	52.6	52.6	0.0
	問2-14 水産物の高付加価値化・ブランド化	70.0	71.9	1.9	54.4	54.7	0.3
	問2-15 企業誘致の推進	73.8	74.3	0.5	48.7	48.5	▲ 0.2
	問2-16 創業・起業への支援	72.3	72.4	0.1	51.1	51.4	0.3
	問2-17 地場産業への支援	74.1	75.3	1.2	52.6	53.0	0.4
	問2-18 労働者福祉の向上	74.2	74.8	0.6	51.9	52.1	0.2
	問2-19 観光資源の発掘・魅力づくり	75.3	75.5	0.2	49.3	50.1	0.8
	問2-20 宿泊・観光施設の整備	78.1	76.8	▲ 1.3	44.8	46.4	1.6
福祉・保健	問2-21 子育て支援サービスの充実	77.4	77.1	▲ 0.3	59.1	59.5	0.4
	問2-22 保育園・児童館などの整備	74.8	74.3	▲ 0.5	60.8	62.0	1.2
	問2-23 保健・健康づくりサービスの充実	74.3	75.0	0.7	58.8	60.0	1.2
	問2-24 医療機関の充実	83.1	83.0	▲ 0.1	52.7	54.2	1.5
	問2-25 高齢者福祉サービスの充実	77.1	78.3	1.2	57.0	57.4	0.4
	問2-26 介護サービスの充実	77.3	79.2	1.9	57.1	57.5	0.4
	問2-27 高齢者福祉・介護施設の整備	77.4	78.8	1.4	55.6	56.8	1.2
	問2-28 障害者福祉サービスの充実	75.3	76.9	1.6	56.6	57.4	0.8
	問2-29 障害者福祉施設の整備	74.9	76.1	1.2	56.8	57.2	0.4
	問2-30 セーフティーネットの確保	73.2	74.1	0.9	56.9	56.8	▲ 0.1
	問2-31 地域福祉・ボランティアの推進	72.1	74.0	1.9	56.7	57.2	0.5
生活・環境	問2-32 人権尊重の社会づくり	69.4	70.3	0.9	59.3	58.7	▲ 0.6
	問2-33 男女共同参画の推進	66.9	67.0	0.1	58.8	58.8	0.0
	問2-34 公衆衛生の確保・環境美化	73.4	74.3	0.9	57.0	56.6	▲ 0.4
	問2-35 ゴミ対策・リサイクルの推進	75.8	75.7	▲ 0.1	58.0	58.6	0.6
	問2-36 地球温暖化対策	75.3	75.5	0.2	55.5	55.2	▲ 0.3
	問2-37 自然環境の保全	76.1	77.2	1.1	54.5	54.7	0.2
安全・安心	問2-38 大規模災害などに備えた危機管理体制の構築	84.3	83.9	▲ 0.4	53.7	53.5	▲ 0.2
	問2-39 地域防災活動への支援	79.7	78.7	▲ 1.0	55.8	56.1	0.3
	問2-40 避難所などの整備	81.4	80.5	▲ 0.9	53.0	54.0	1.0
	問2-41 消防体制の充実・強化	78.0	77.9	▲ 0.1	59.8	61.1	1.3
	問2-42 救急体制の充実・強化	80.1	80.5	0.4	59.0	60.6	1.6
	問2-43 火災予防の推進	76.3	76.1	▲ 0.2	59.6	60.0	0.4
	問2-44 防犯・交通安全の確保	77.7	77.2	▲ 0.5	58.3	58.9	0.6
	問2-45 消費者行政の充実	72.9	73.2	0.3	56.5	57.8	1.3
基盤	問2-46 道路の整備	77.7	75.8	▲ 1.9	52.0	53.7	1.7
	問2-47 港湾・漁港の整備	69.2	69.2	0.0	58.7	58.6	▲ 0.1
	問2-48 防災対策(河川・急傾斜地)	80.4	79.1	▲ 1.3	51.0	52.3	1.3
	問2-49 上水道の整備	74.6	73.6	▲ 1.0	59.9	60.5	0.6
	問2-50 下水道の整備	72.9	72.2	▲ 0.7	58.3	58.6	0.3
	問2-51 住宅・住環境の整備	71.2	70.6	▲ 0.6	57.0	57.1	0.1
	問2-52 公園緑地の整備	66.9	68.1	1.2	55.4	54.7	▲ 0.7
	問2-53 計画的な土地利用	71.0	70.5	▲ 0.5	51.8	53.1	1.3
	問2-54 公共施設の再編・整備	70.0	69.0	▲ 1.0	54.9	55.8	0.9
	問2-55 情報通信基盤の整備	72.2	72.3	0.1	56.7	55.3	▲ 1.4
	問2-56 海上交通の確保	79.6	77.8	▲ 1.8	52.9	54.3	1.4
	問2-57 バスなどの確保	76.9	74.7	▲ 2.2	49.5	52.7	3.2
地域	問2-58 都市との交流の促進	63.6	65.3	1.7	58.8	59.6	0.8
	問2-59 定住促進策の推進	72.6	72.4	▲ 0.2	53.3	54.5	1.2
	問2-60 自治会などの地域活動への支援	68.6	68.8	0.2	57.3	57.7	0.4
	問2-61 国際化・多文化共生の推進	62.5	64.0	1.5	57.0	57.4	0.4
	問2-62 地域活動拠点の整備	66.8	66.5	▲ 0.3	56.8	57.7	0.9
全般・その他	問2-63 行財政改革への取組	74.4	76.0	1.6	53.1	53.5	0.4
	問2-64 市民と行政が協力・連携して取り組む協働のまちづくり	73.7	74.1	0.4	54.3	55.0	0.7
	問2-65 市民等への情報提供・情報公開	74.9	75.3	0.4	55.6	56.3	0.7
	問2-66 市民の意見の把握・反映	75.5	76.1	0.6	53.0	53.4	0.4
	問2-67 市外への情報発信・PR	72.1	73.6	1.5	55.8	55.7	▲ 0.1
	問2-68 市役所・市民センターなどの窓口対応	74.7	76.2	1.5	57.1	58.5	1.4

(2) 部門ごとでの重要度ポイント, 満足度ポイントの状況

重要度ポイントについて部門ごとにみると、「安全・安心」が78.5点で最も高く、次いで「福祉・保健」77.0点、「全般・その他」75.2点などとなっています。

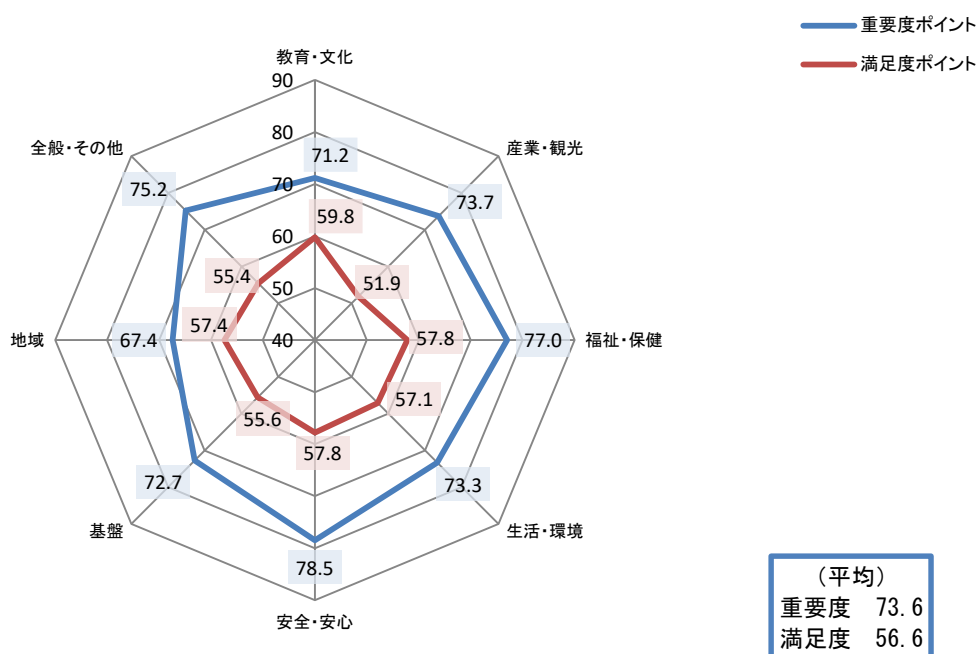
満足度ポイントについては、「教育・文化」が59.8点で最も高く、次いで「福祉・保健」と「安全・安心」57.8点などとなっています。

重要度ポイントと満足度ポイントの両方が平均値を上回っている部門は、「福祉・保健」と「安全・安心」であり、現状の満足度が高く、今後においても市民が重要であると捉えているといえます。逆に両方が平均値を下回っている部門は、「基盤」となっています。

一方、満足度が平均値より低く重要度が平均値より高い「産業・観光」と「全般・その他」については、今後伸ばしていくべき部門として捉えられていると考えられます。

また、居住地区別（次頁参照）にみても、概ね同様の傾向となっています。

図 部門別の重要度ポイント, 満足度ポイント



参考：居住地別部門別ポイント状況

図 江田島町

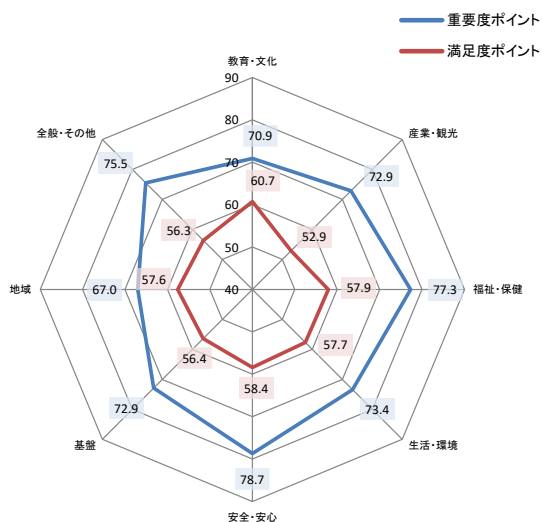


図 能美町

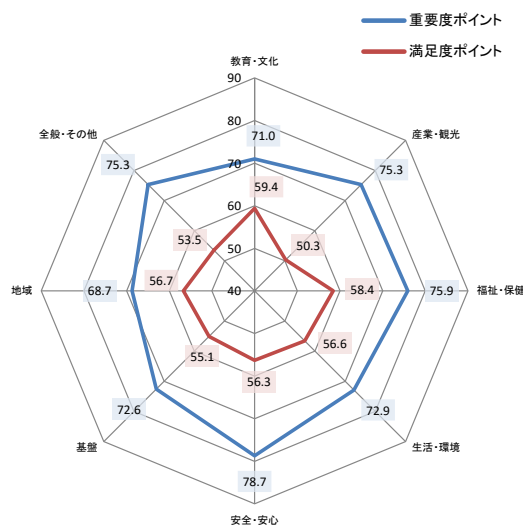


図 沖美町

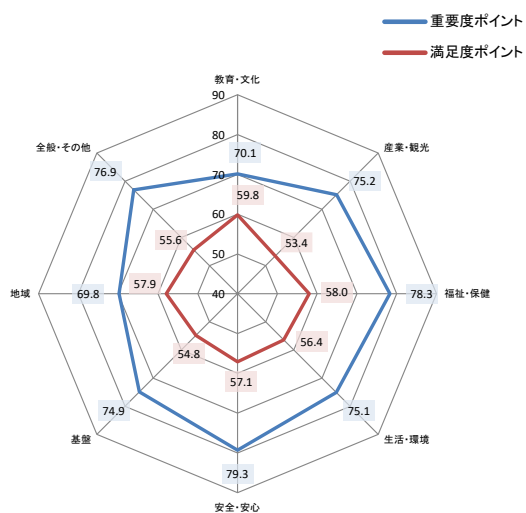
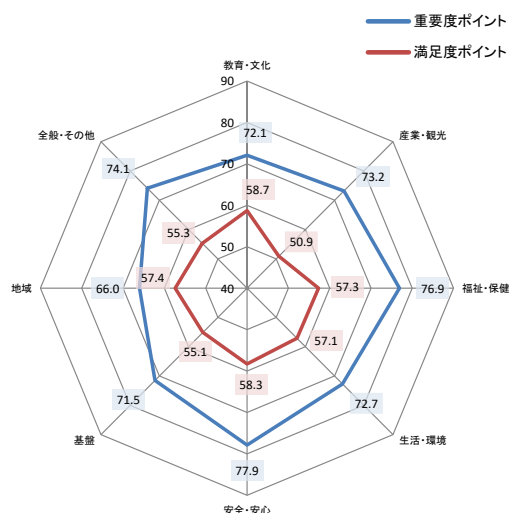


図 大柿町



(3) 部門別の重要度ポイント, 満足度ポイントの状況

ア 教育・文化

教育・文化部門の項目別にみると、「学校教育の内容（小中学校）」, 「学校と地域・家庭との信頼関係」については, 満足度ポイントと同様に重要度ポイントがそれぞれ80.5点, 77.5点と非常に高く, 今後も重要であると捉えられていると言えます。

図 教育・文化部門のポイント状況

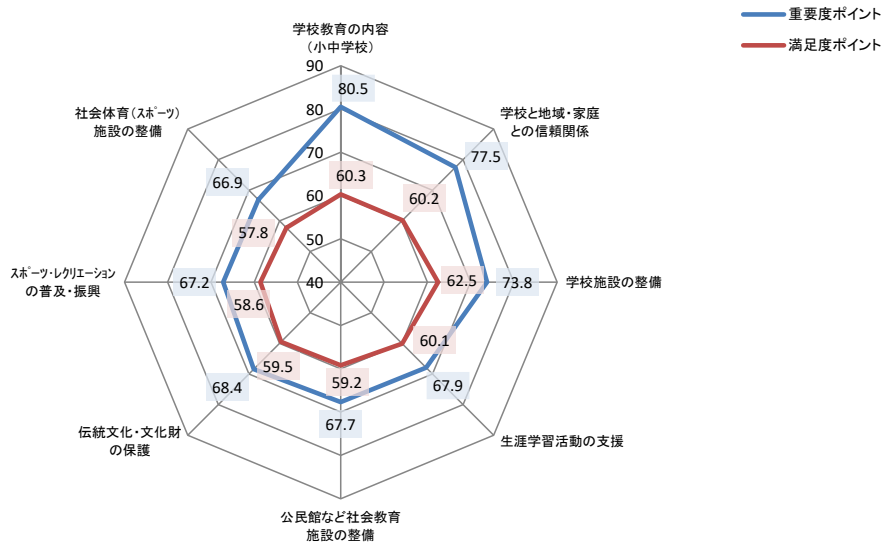


図 江田島町

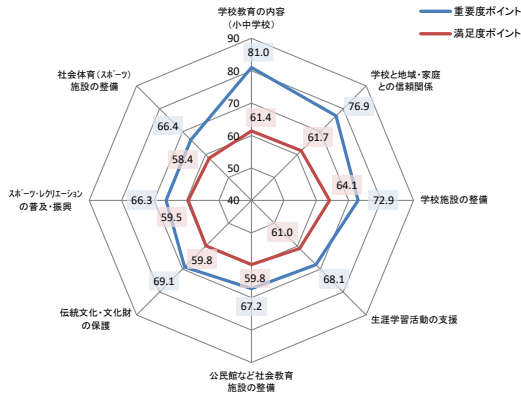


図 能美町

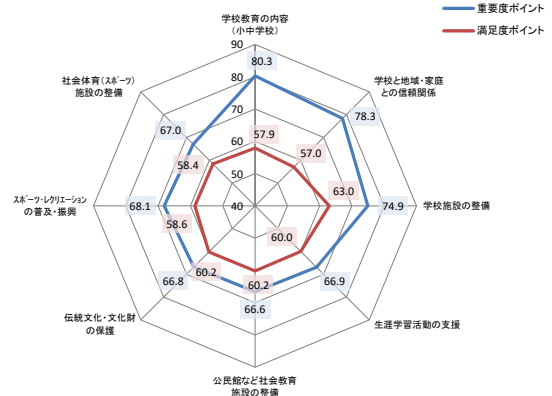


図 沖美町

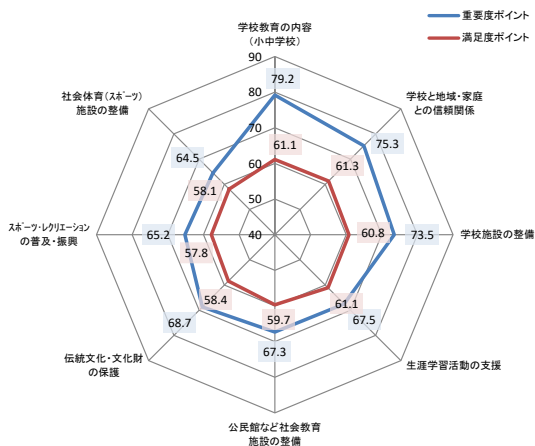
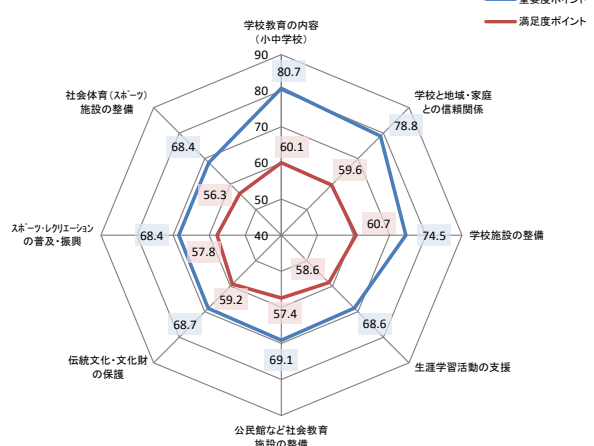


図 大柿町



イ 産業・観光

産業・観光部門の項目別にみると、全体的に満足度ポイントが低くなっており、重要度ポイントとの乖離が大きくなっています。特に乖離が25点を超える「企業誘致の推進」、「観光資源の発掘・魅力づくり」及び「宿泊・観光施設の整備」については、市民が現状に対して特に重要な項目として考えていることが示されています。

図 産業・観光部門のポイント状況

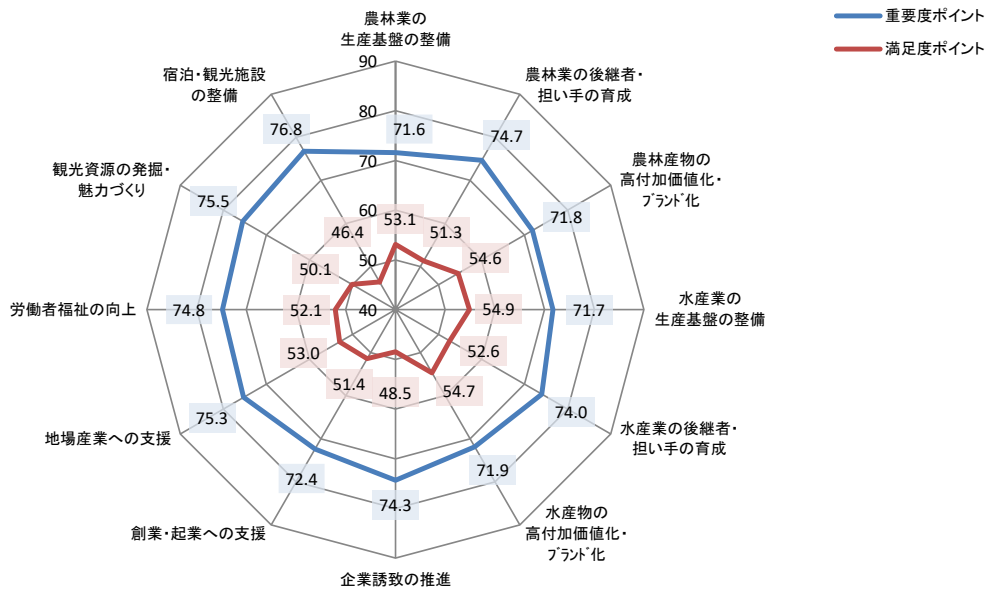


図 江田島町

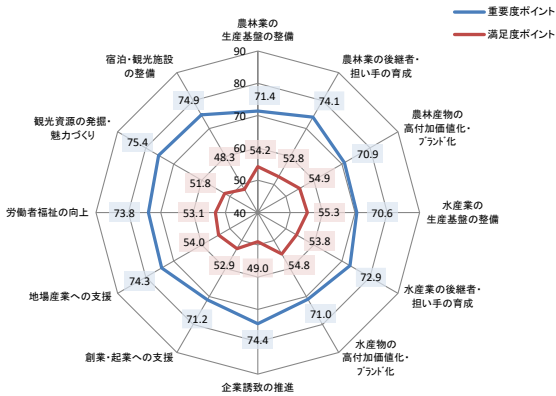


図 能美町

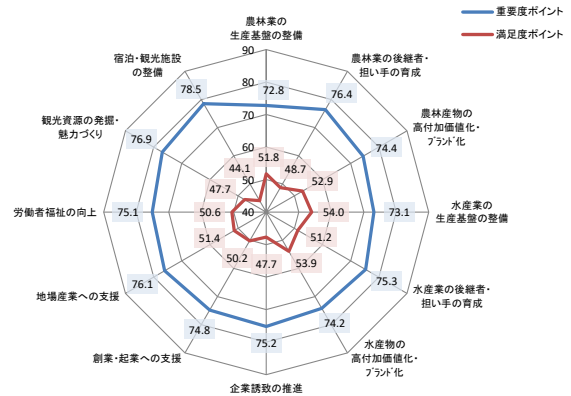


図 沖美町

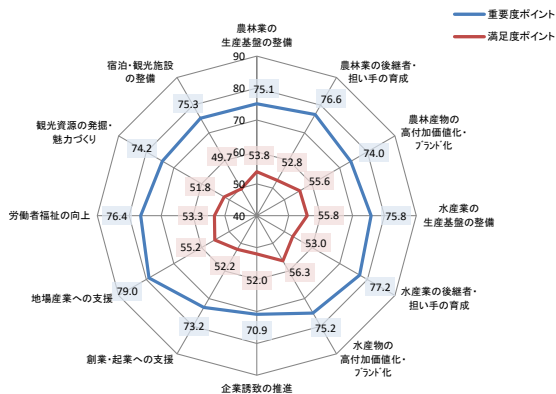
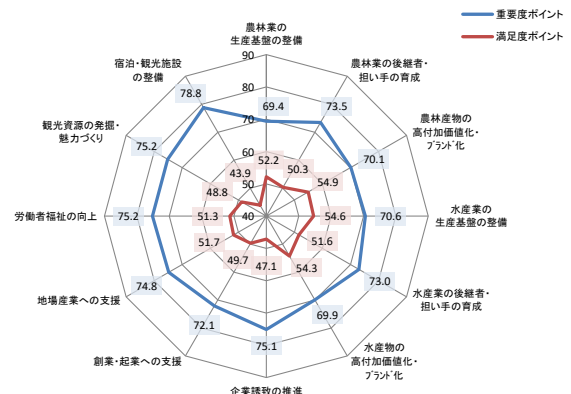


図 大柿町



ウ 福祉・保健

福祉・保健部門の項目別にみると、全体的に重要度ポイントは高くなっています。特に「医療機関の充実」は83.0点と最も高く、また満足度ポイントとの乖離も28.8点と大きくなっています。

図 福祉・保健部門のポイント状況

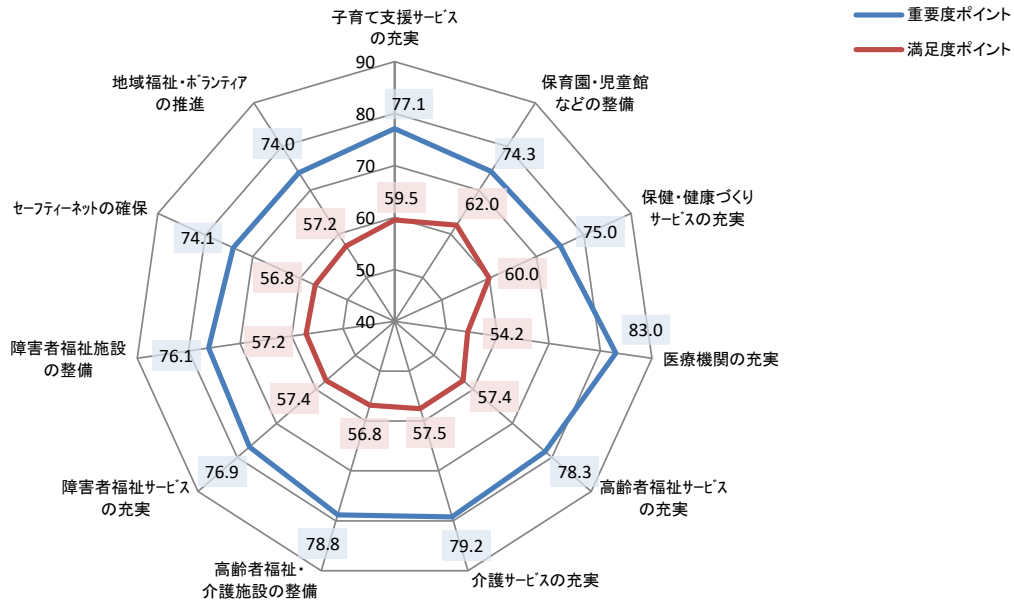


図 江田島町

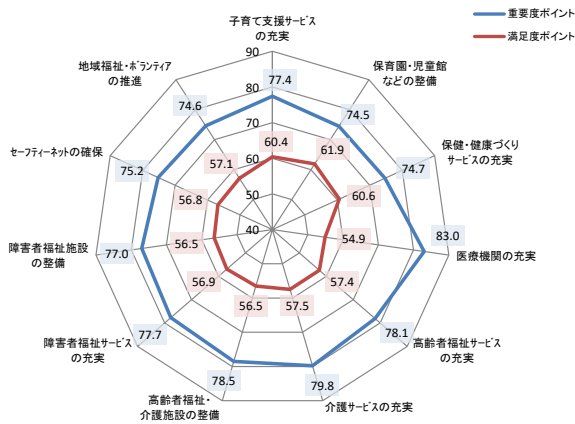


図 能美町

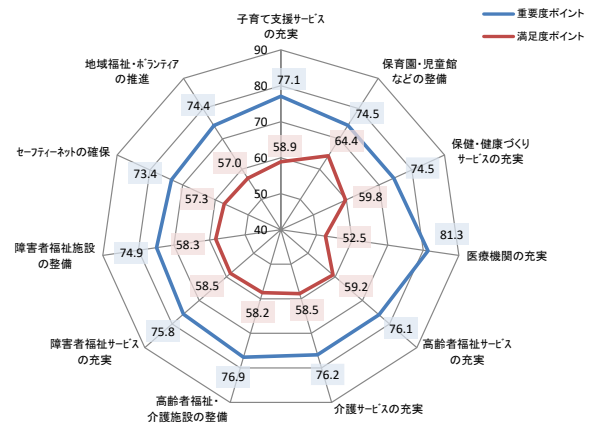


図 沖美町

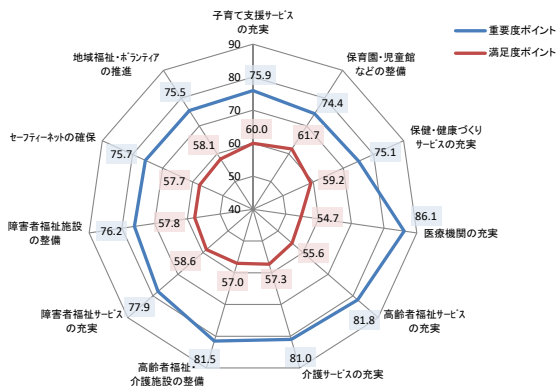
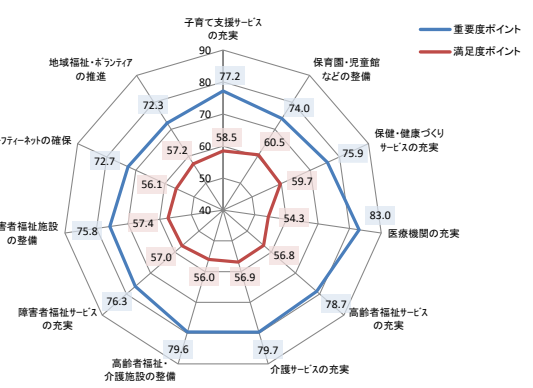


図 大柿町



エ 生活・環境

生活・環境部門の項目別にみると、「自然環境の保全」、「ゴミ対策・リサイクルの推進」など環境系の項目で重要度ポイントが高くなっています。

一方で、「男女共同参画の推進」及び「人権尊重の社会づくり」は重要度ポイントが低く、満足度ポイントとの乖離が小さいなど、環境系と生活系で差が見られます。

図 生活・環境部門のポイント状況

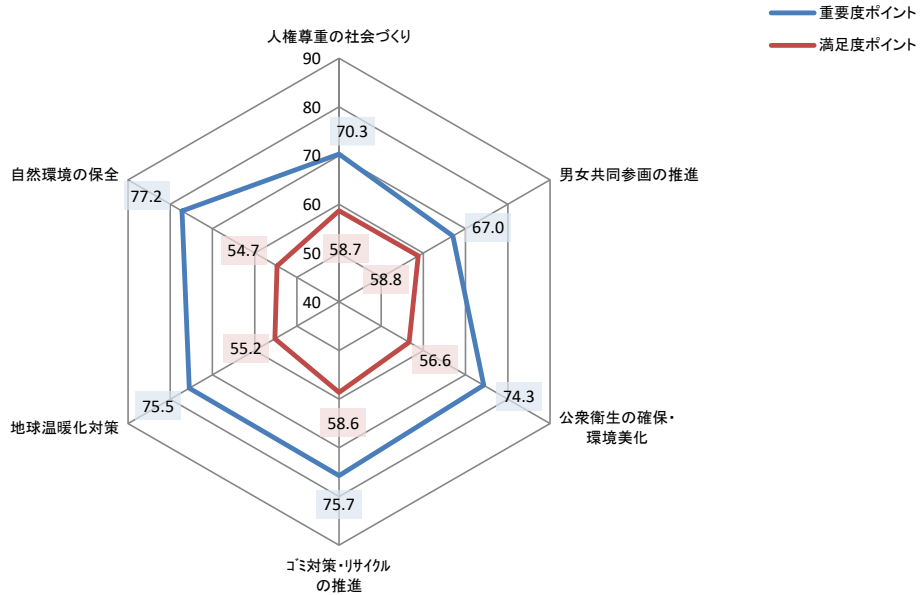


図 江田島町

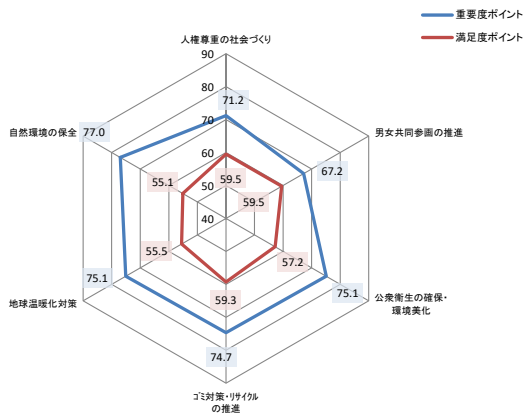


図 能美町

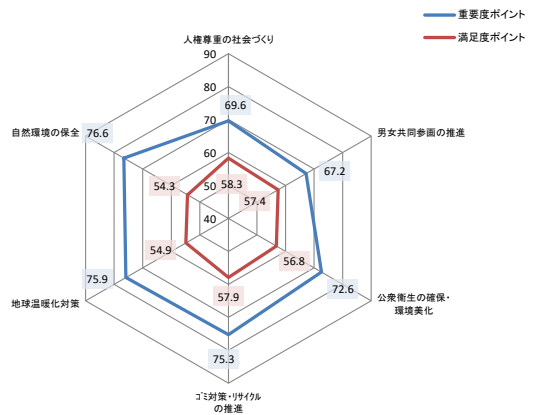


図 沖美町

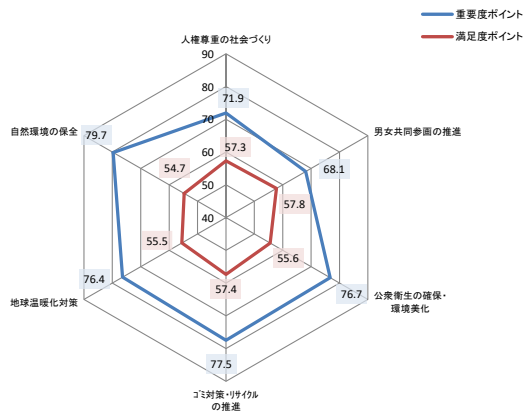
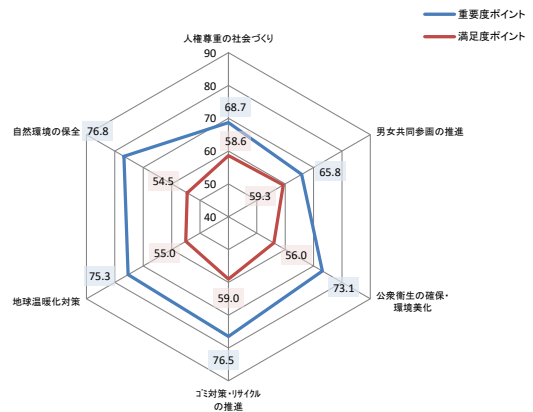


図 大柿町



オ 安全・安心

安全・安心部門の項目別にみると、「大規模災害などに備えた危機管理体制の構築」、「避難所などの整備」、「救急体制の充実・強化」などで重要度ポイントが高くなっています。

この中でも満足度ポイントとの乖離が、「大規模災害などに備えた危機管理体制の構築」30.4点、「避難所などの整備」26.5点と特に大きく、災害への備えの必要性が指摘されています。

図 安全・安心部門のポイント状況

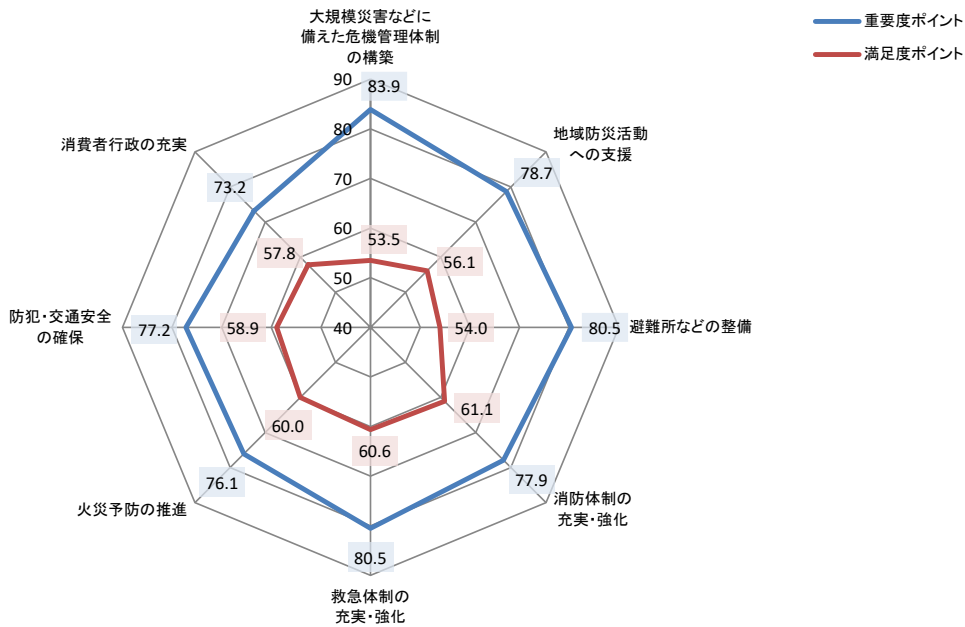


図 江田島町

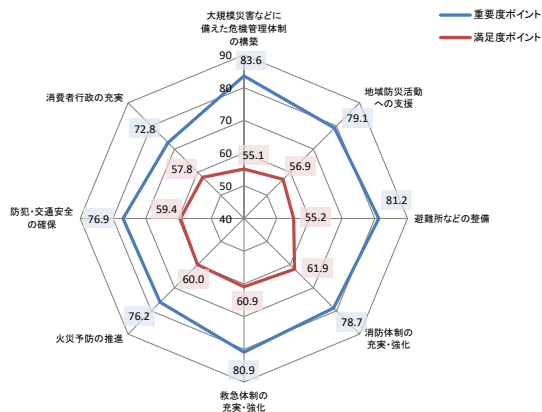


図 能美町

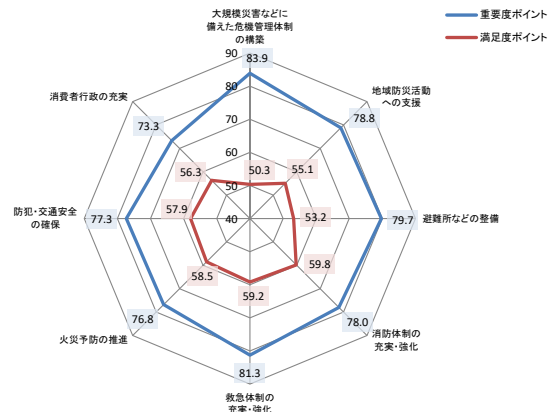


図 沖美町

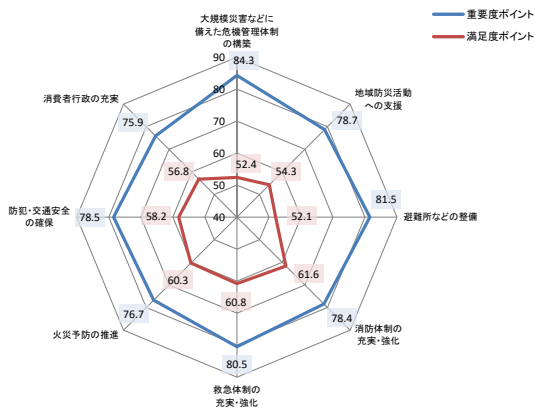
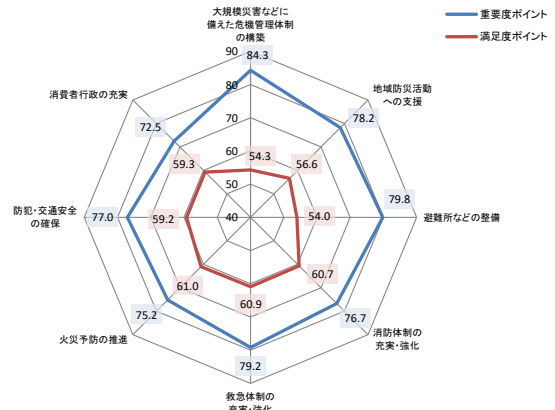


図 大柿町



カ 基盤

基盤部門の項目別にみると、「海上交通の確保」，「バスなどの確保」等の重要度ポイントが高いにもかかわらず，満足度ポイントが低い状況にあり，交通系で乖離が大きくなっています。また，「防災対策（河川・急傾斜地）」，「道路の整備」においても，重要度ポイントと満足度ポイントの乖離が大きくなっています。一方，「公園緑地の整備」や「公共施設の再編・整備」は，重要度ポイントが低く，満足度ポイントとの乖離も小さくなっています。

図 基盤部門のポイント状況

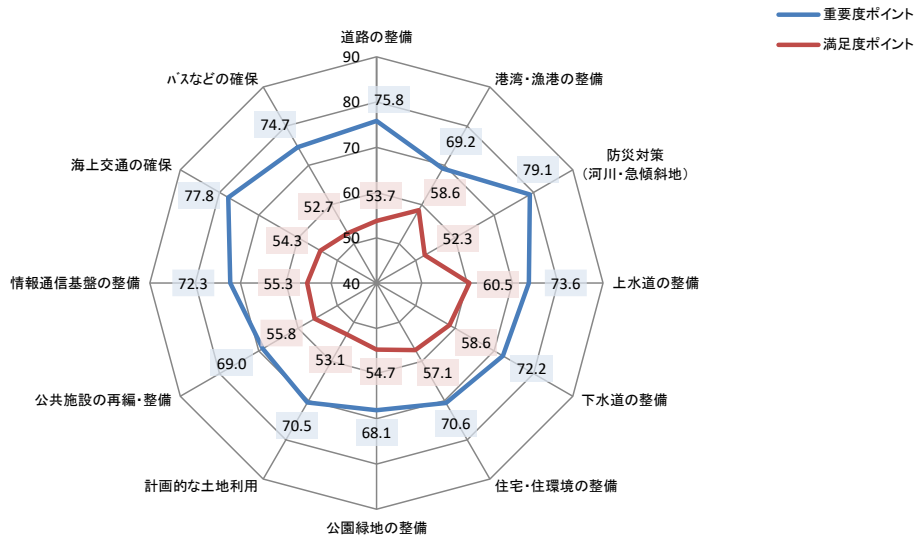


図 江田島町

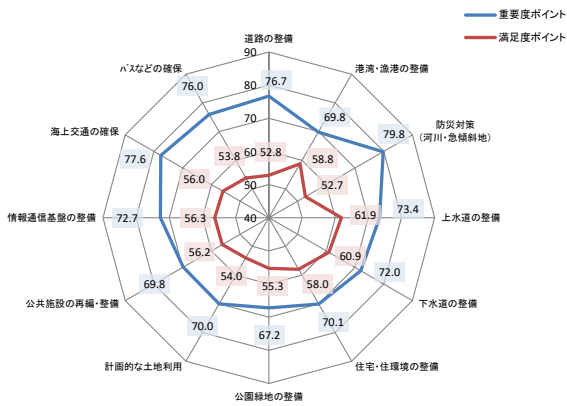


図 能美町

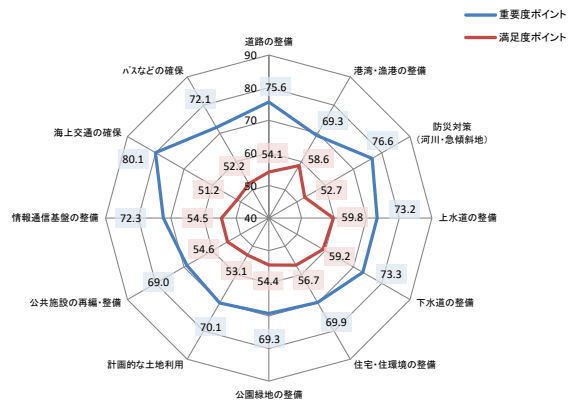


図 沖美町

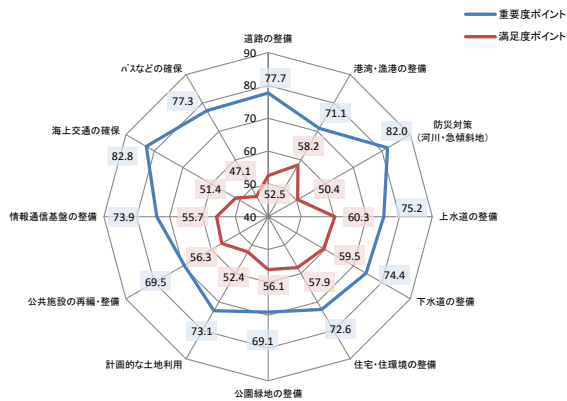
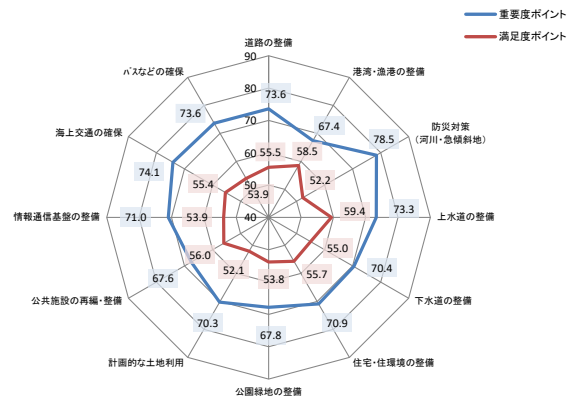


図 大柿町



キ 地域

地域部門の項目別にみると、重要度ポイントが比較的低い項目が多くなっていますが、その中で「定住促進策の推進」は重要度ポイントが72.4点と高くなっています。満足度ポイントは最も低く、乖離が17.9点と大きくなっています。

図 地域部門のポイント状況

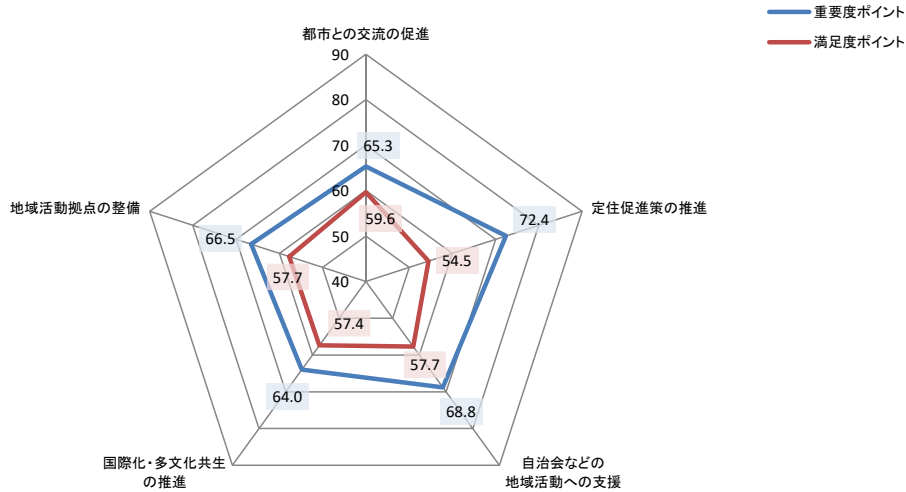


図 江田島町

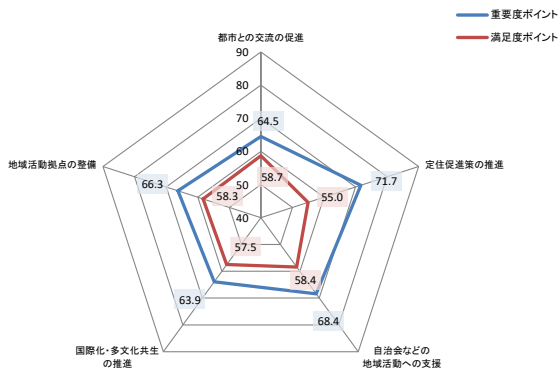


図 能美町

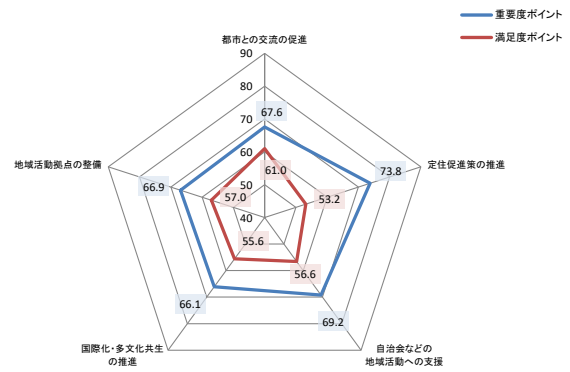


図 沖美町

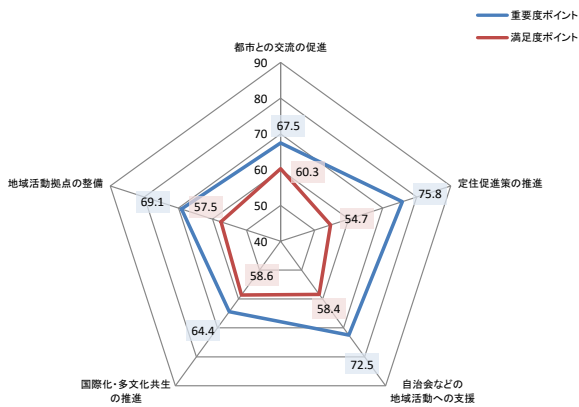
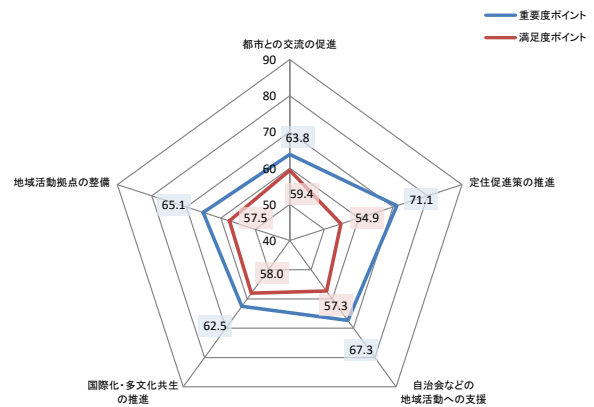


図 大柿町



ク 全般・その他

全般・その他部門の項目別にみると、「市民の意見の把握・反映」の満足度ポイントが53.4点と最も低くなっています。全体的に重要度ポイントは高くなっていますが、特に「市役所・市民センターなどの窓口対応」が76.2点と高くなっています。「市民の意見の把握・反映」は、乖離が22.7点と最も大きくなっています。

図 全般・その他部門のポイント状況

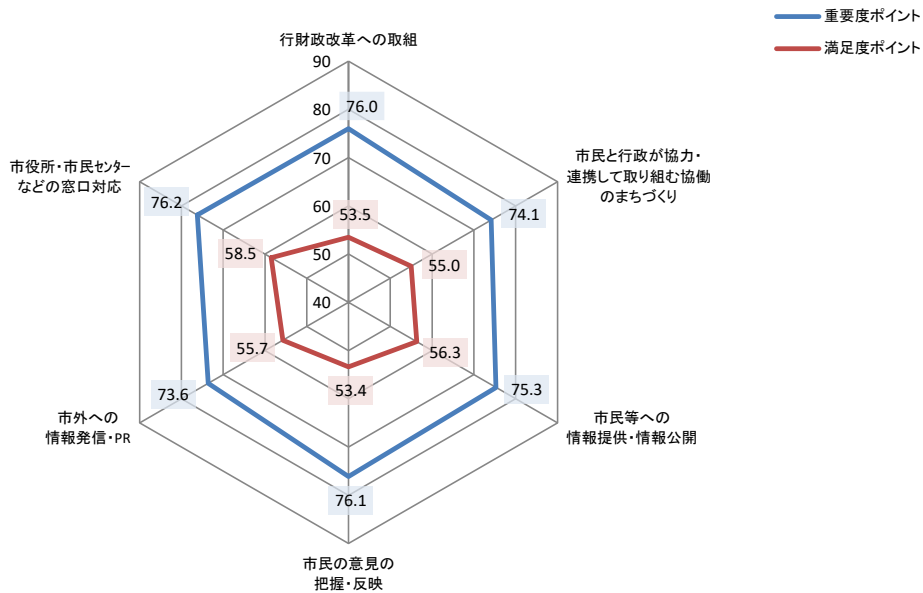


図 江田島町

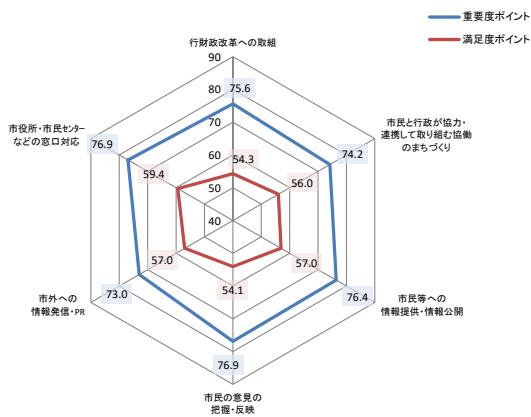


図 能美町

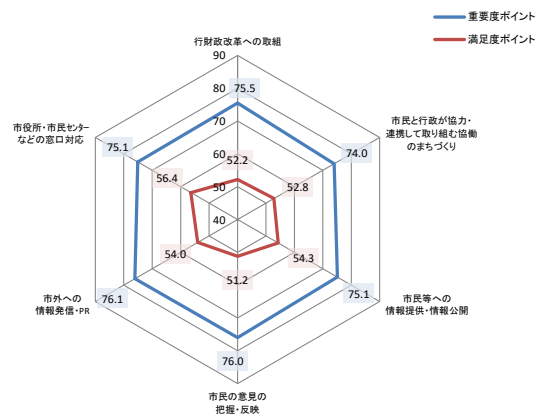


図 沖美町

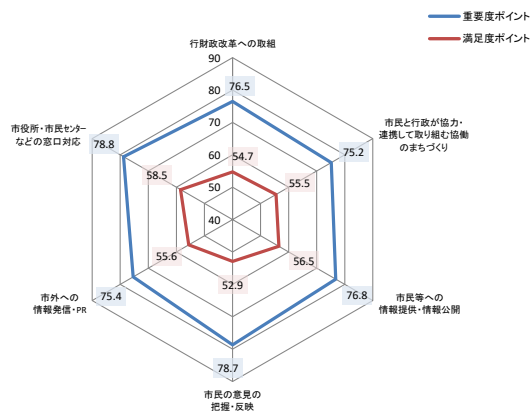
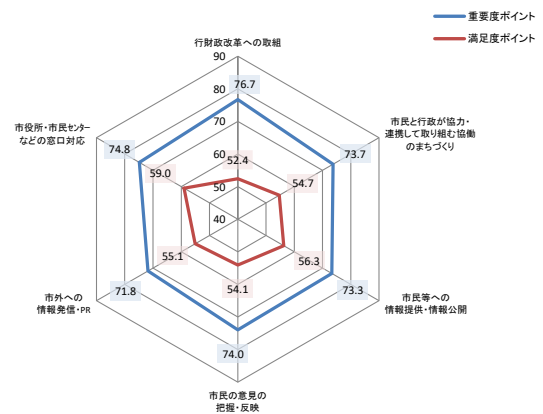
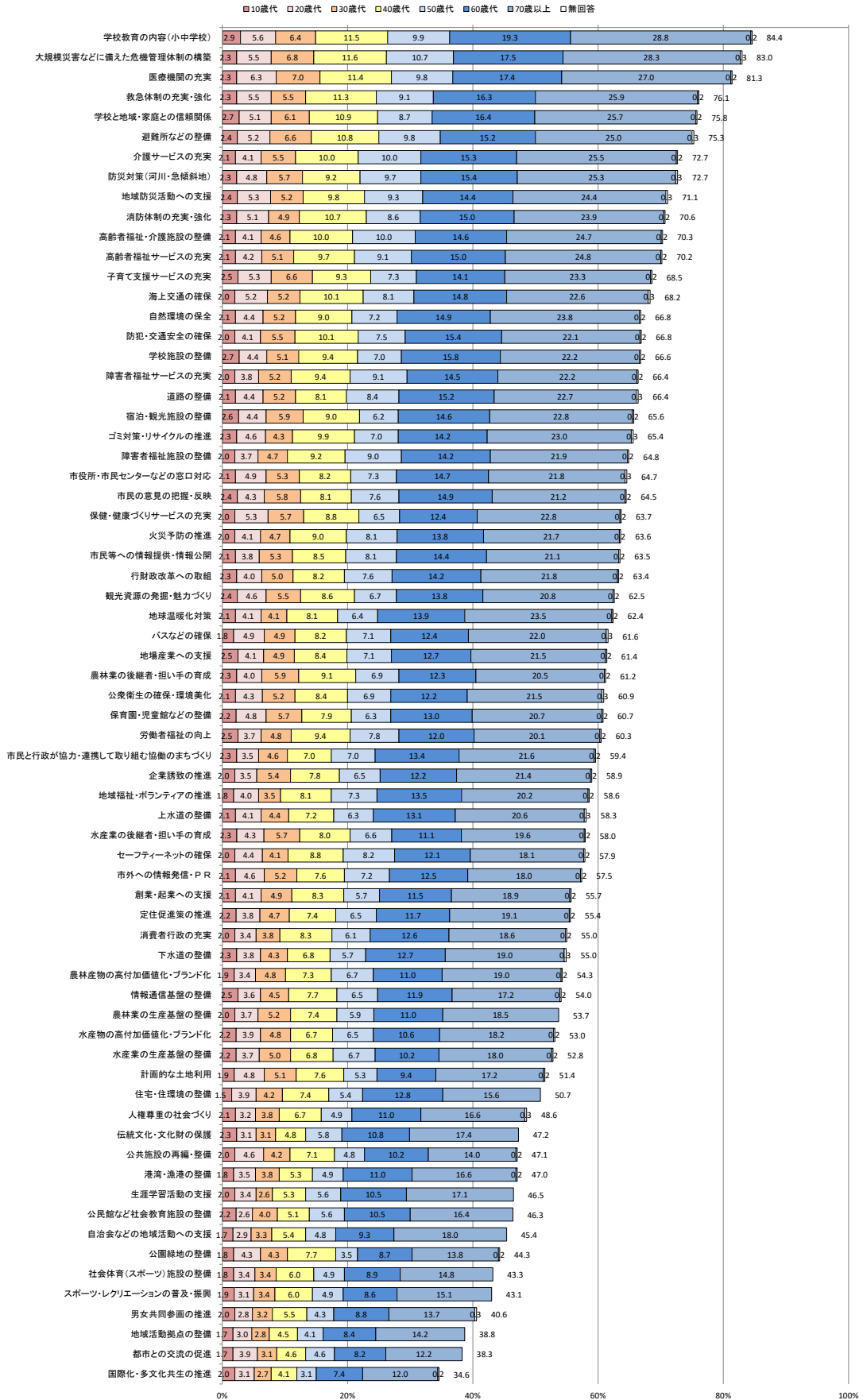


図 大柿町



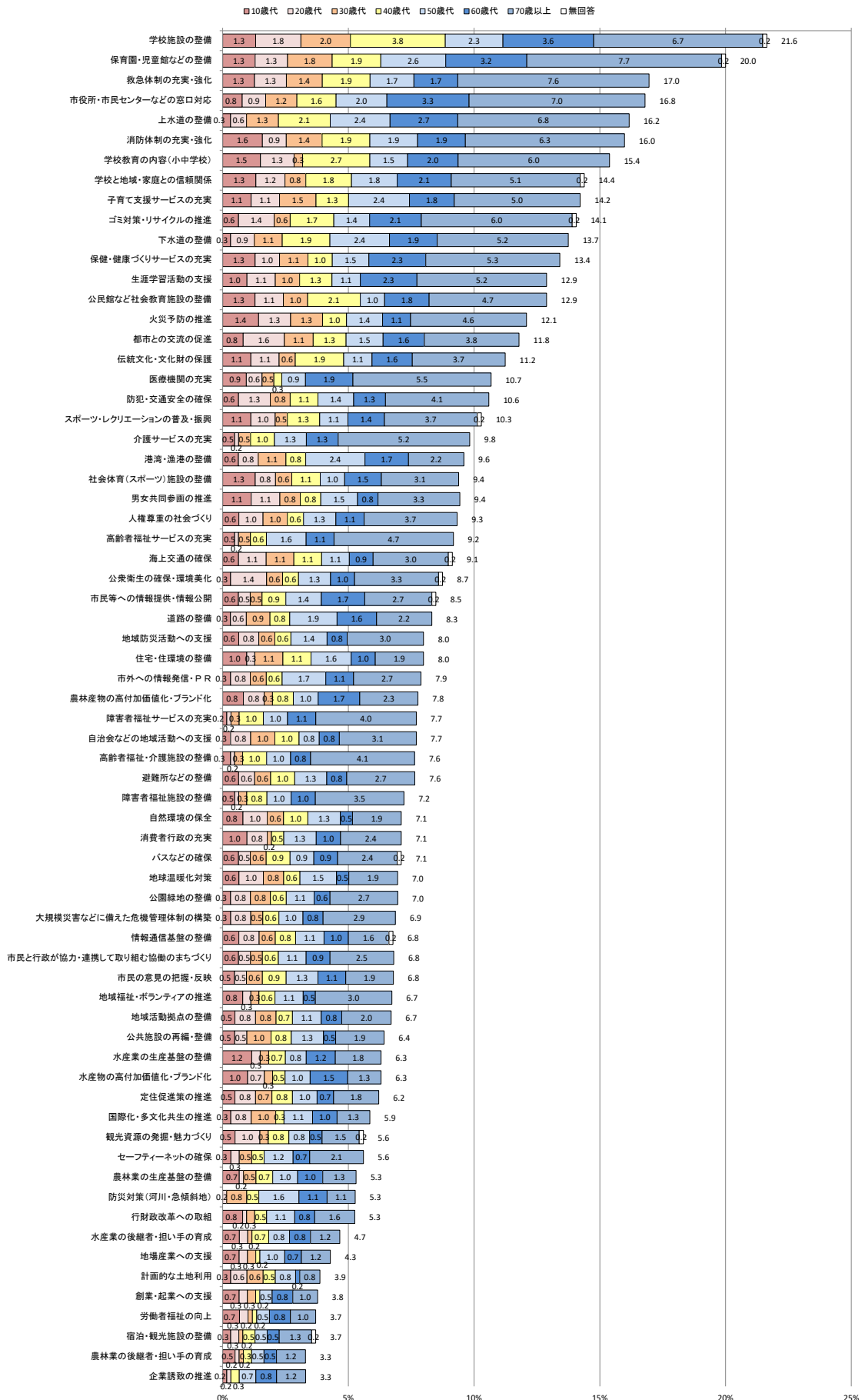
(4) 年齢ごとの今後の重要度と現状の満足度

図 江田島市や地域・地区の現状、市の取組についての今後の重要度 (特に重要+重要)



※端数処理の都合上、市全体の合計(7頁)と年代別の合計とが一致しない場合があります。

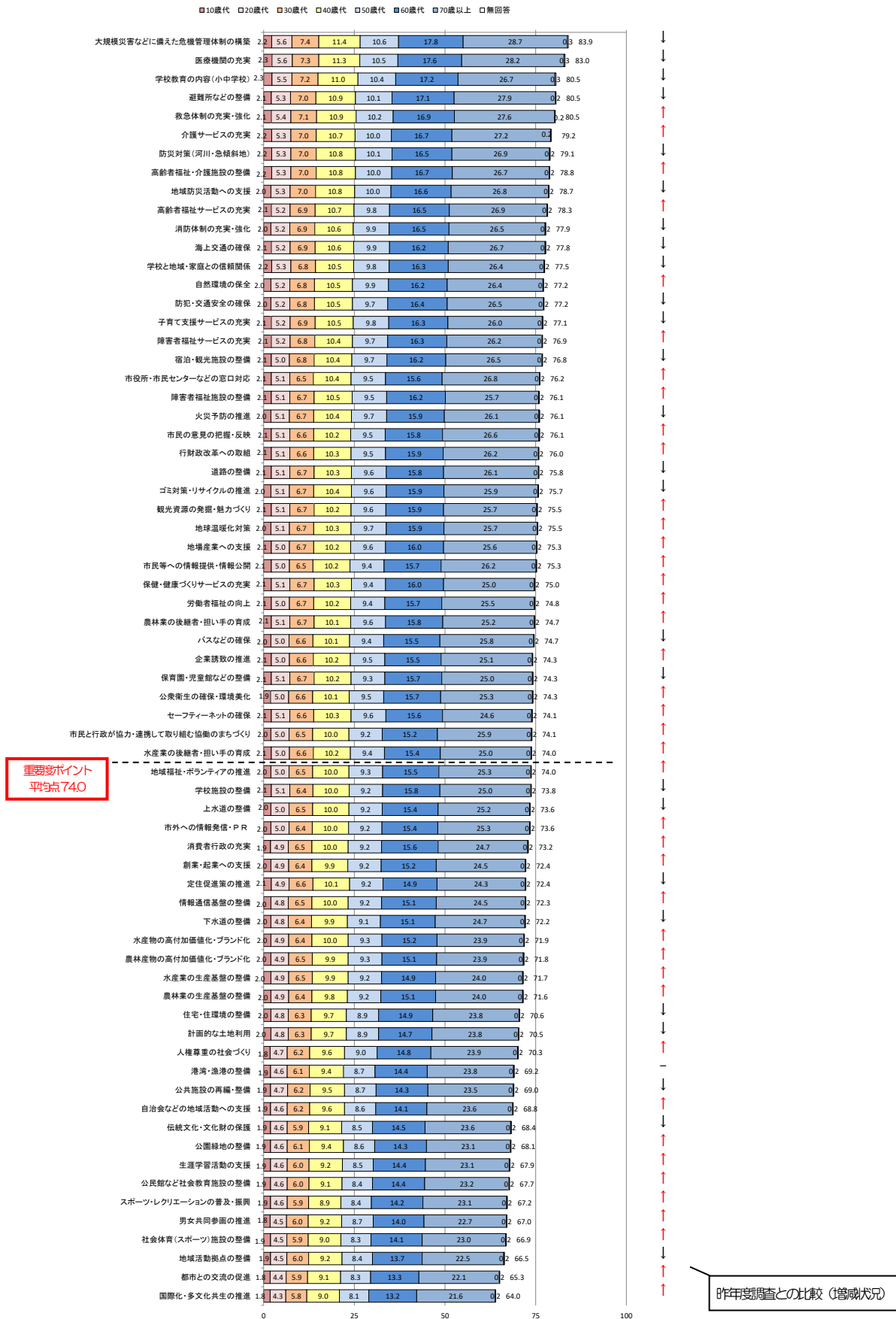
図 江田島市や地域・地区の現状、市の取組についての現状の満足度（とても満足+満足）



※端数処理の都合上、市全体の合計（7頁）と年代別の合計とが一致しない場合があります。

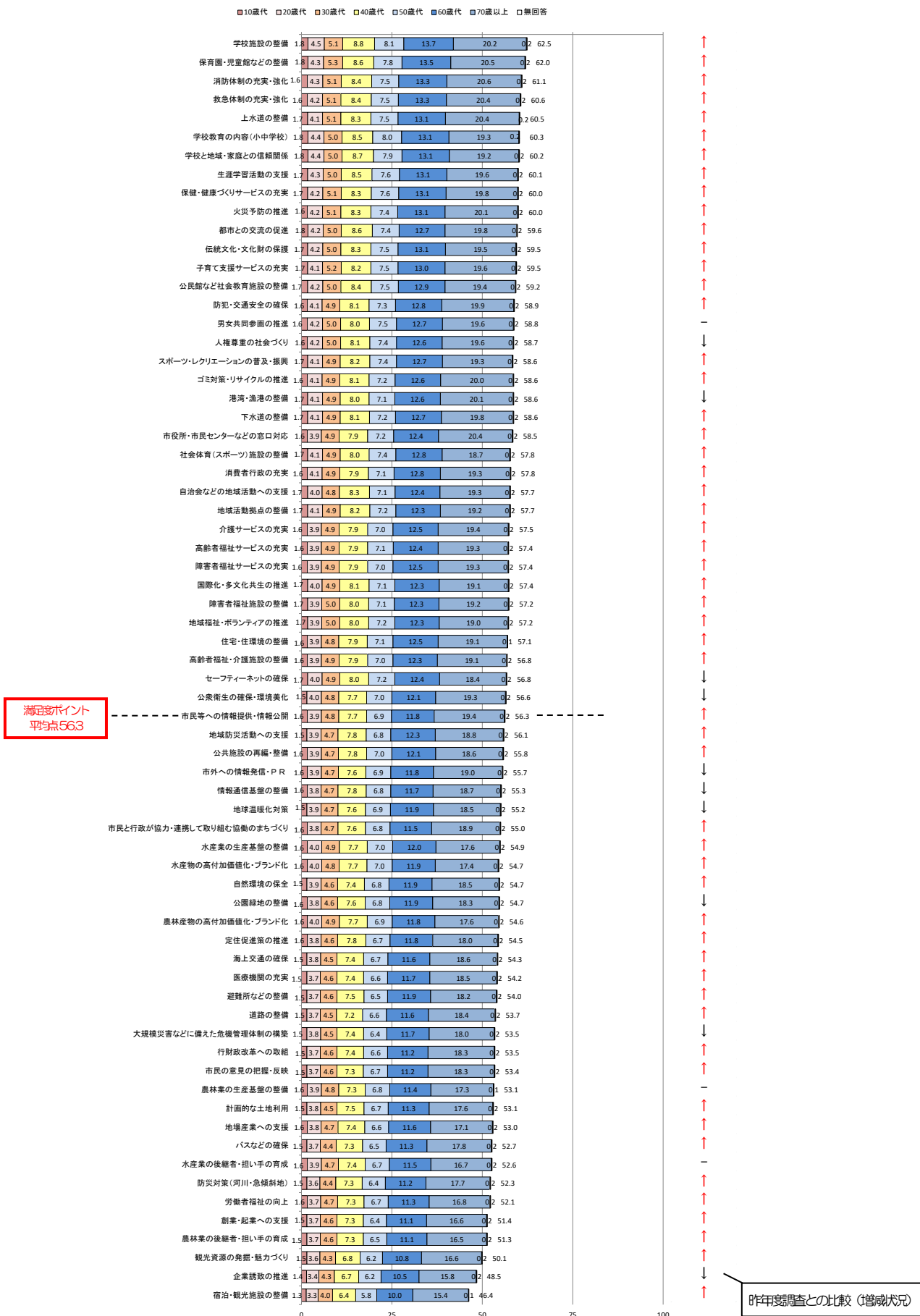
(5) 年齢ごとの重要度ポイント・満足度ポイント

図 江田島市における重要度ポイント



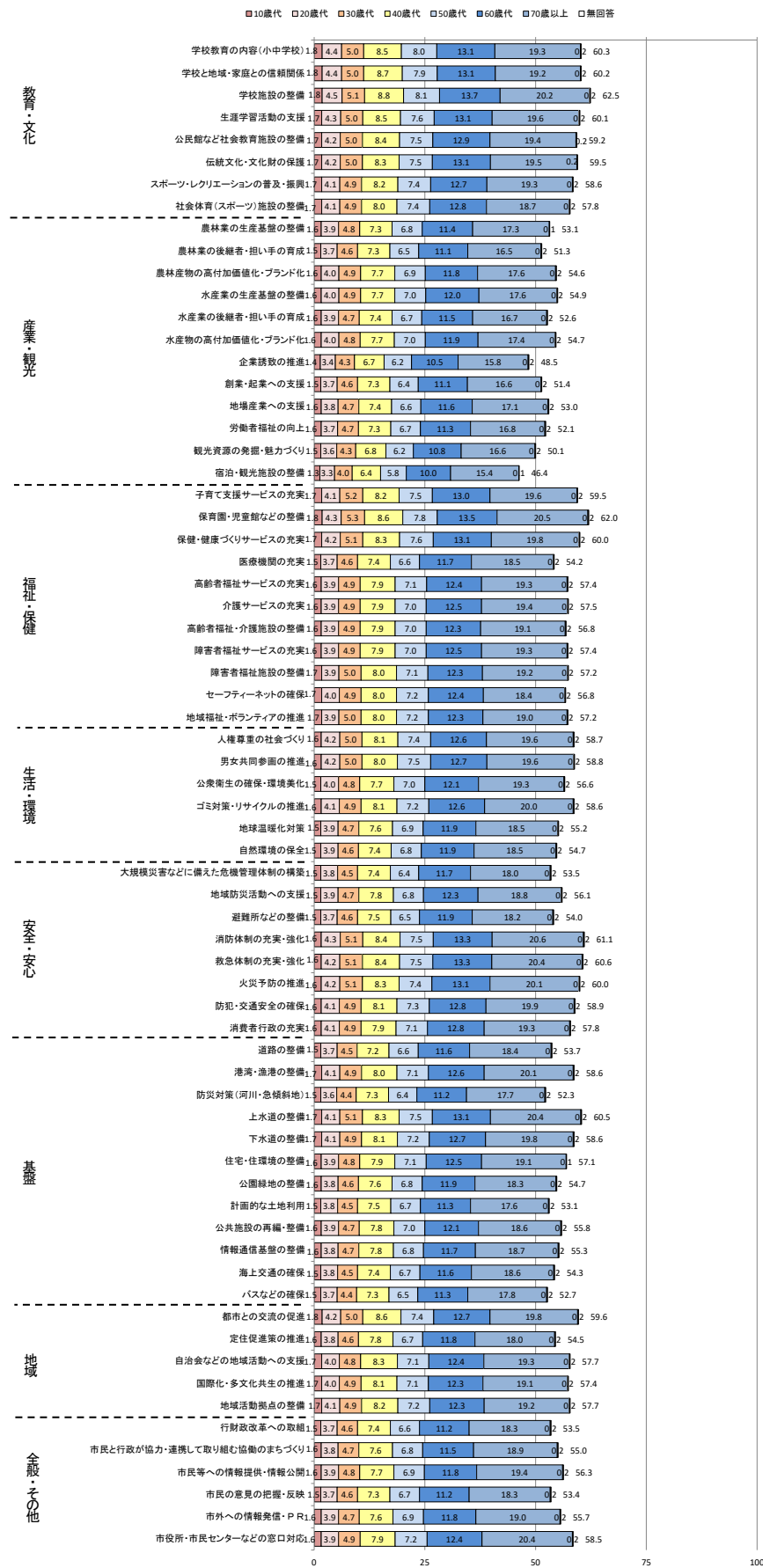
※端数処理の都合上、市全体の合計(11~13頁)と年代別の合計とが一致しない場合があります。

図 江田島市における満足度ポイント



※端数処理の都合上、市全体の合計(11~13頁)と年代別の合計とが一致しない場合があります。

参考図 江田島市における満足度ポイント（市民満足度）・・・部門別



※端数処理の都合上、市全体の合計(11~13頁)と年代別の合計とが一致しない場合があります。

(6) 年齢ごとの部門別の重要度ポイント・満足度ポイントの状況

ア 教育・文化

図 10 歳代

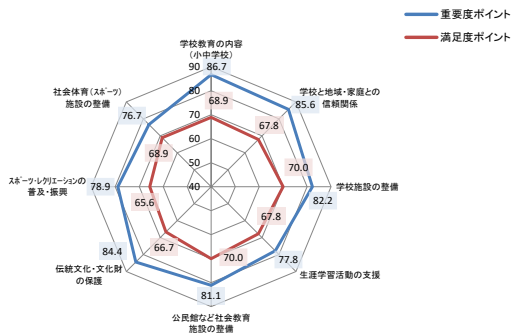


図 20 歳代

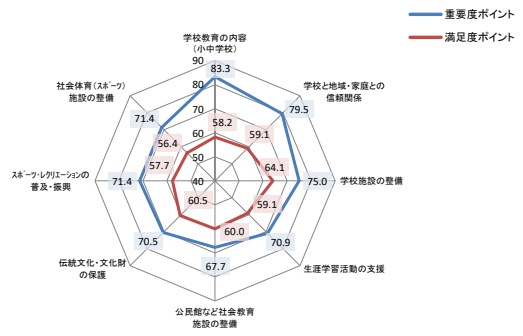


図 30 歳代

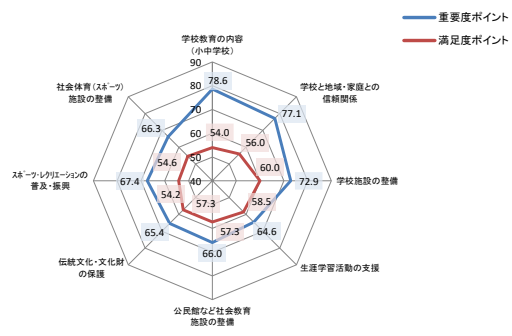


図 40 歳代

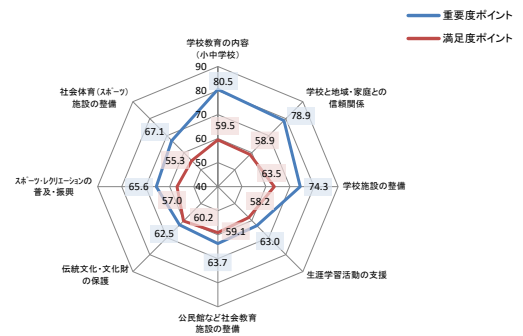


図 50 歳代

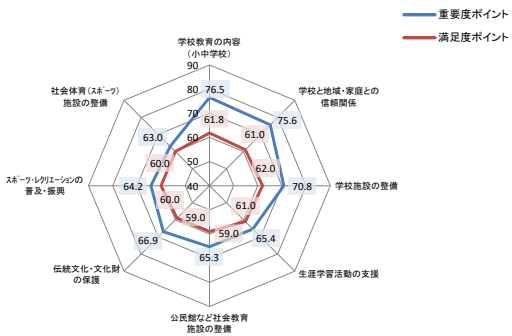


図 60 歳代

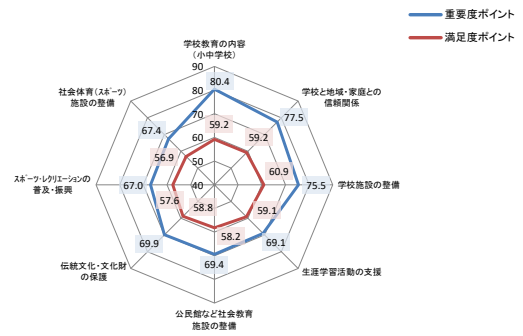
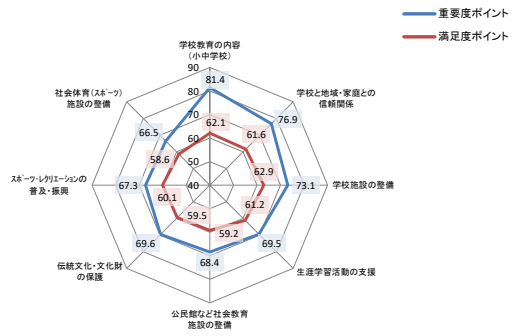


図 70 歳以上



イ 産業・観光

図 10 歳代

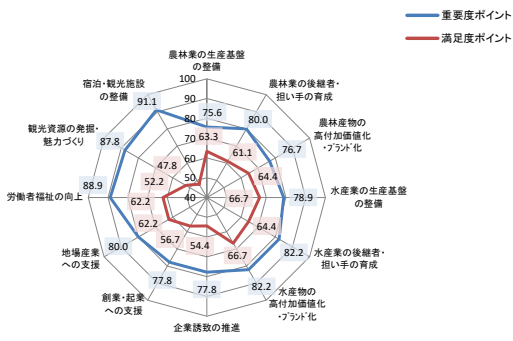


図 20 歳代

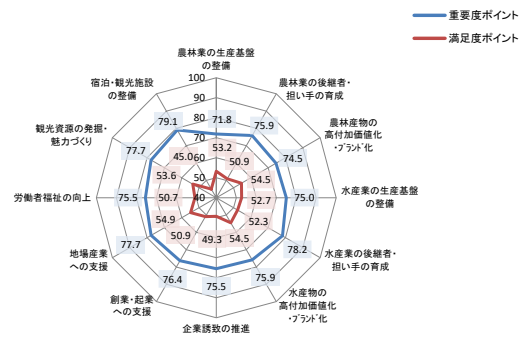


図 30 歳代

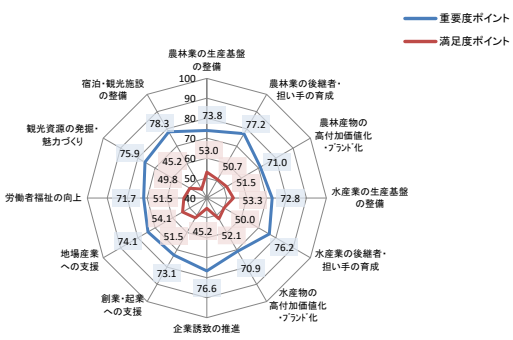


図 40 歳代

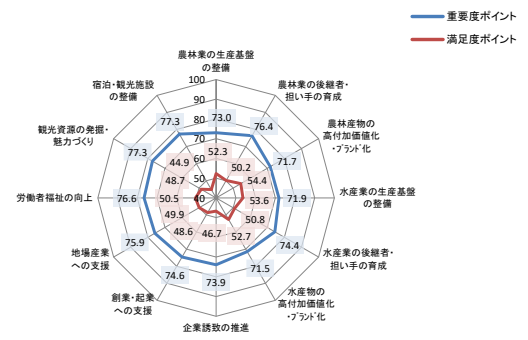


図 50 歳代

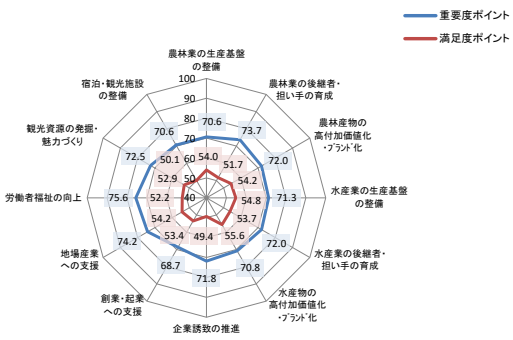


図 60 歳代

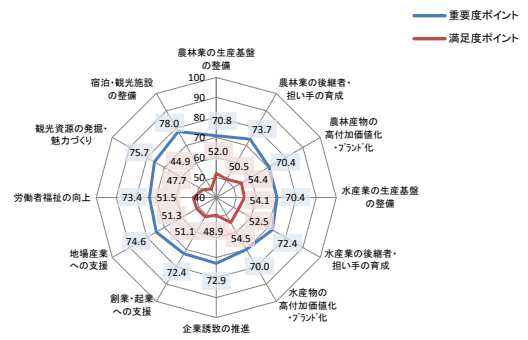
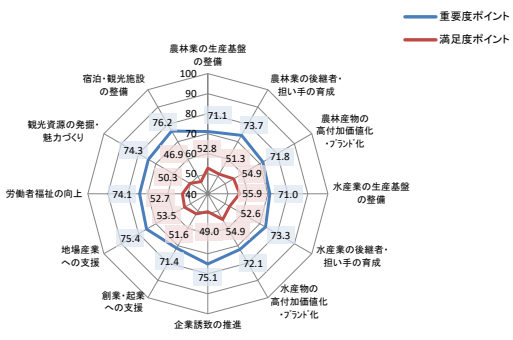


図 70 歳以上



ウ 福祉・保健

図 10 歳代

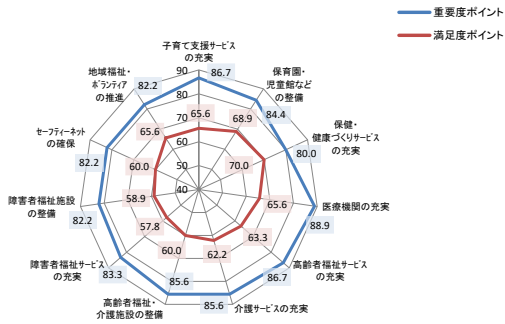


図 20 歳代

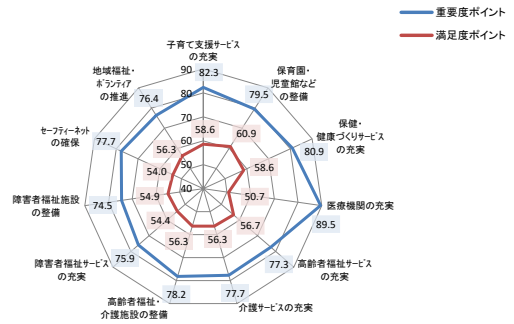


図 30 歳代

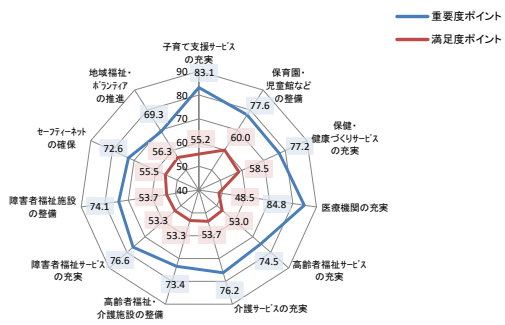


図 40 歳代

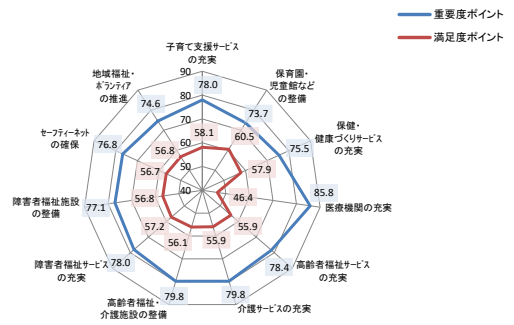


図 50 歳代

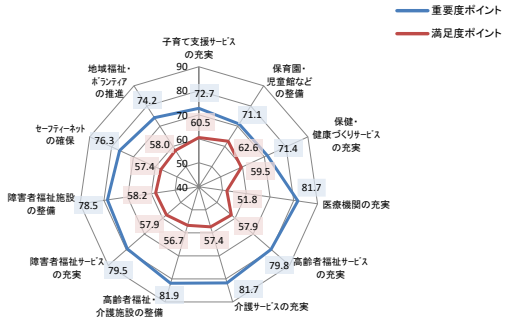


図 60 歳代

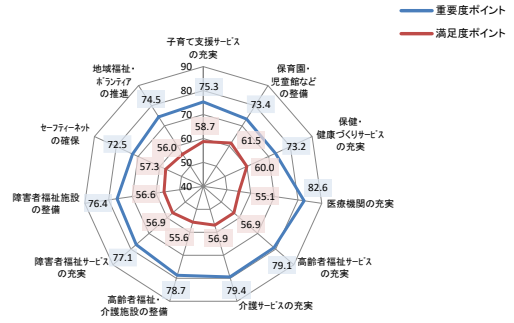
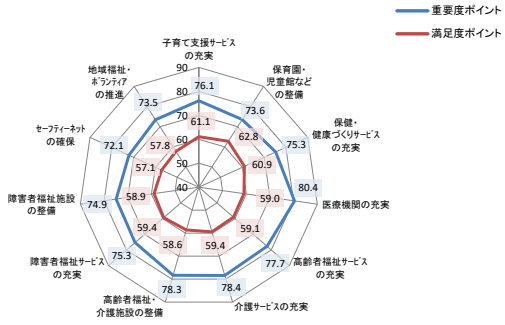


図 70 歳以上



エ 生活・環境

図 10 歳代

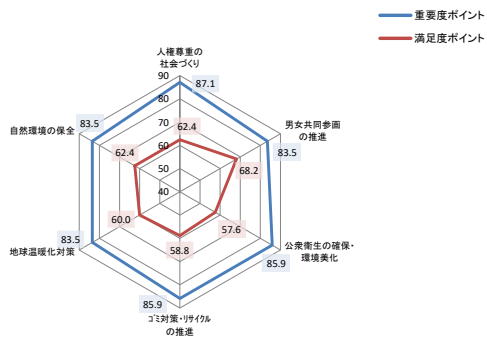


図 20 歳代

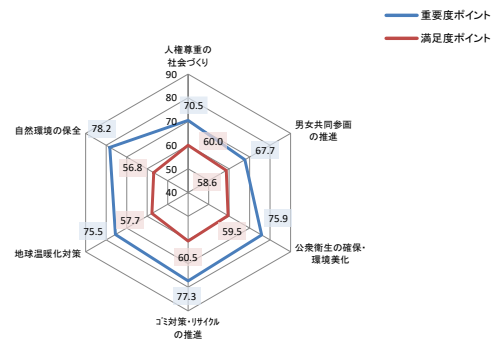


図 30 歳代

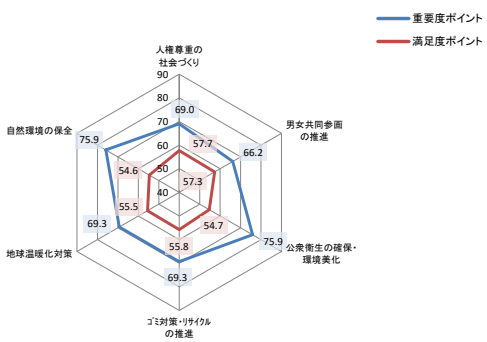


図 40 歳代

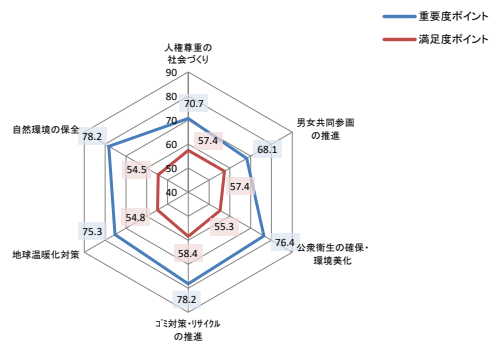


図 50 歳代

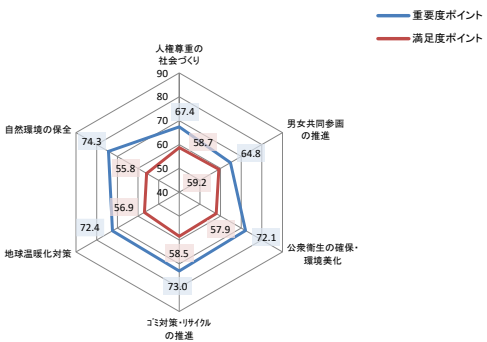


図 60 歳代

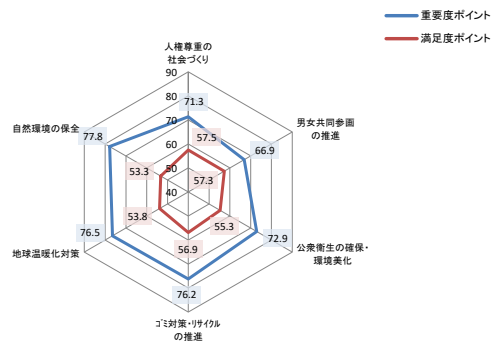
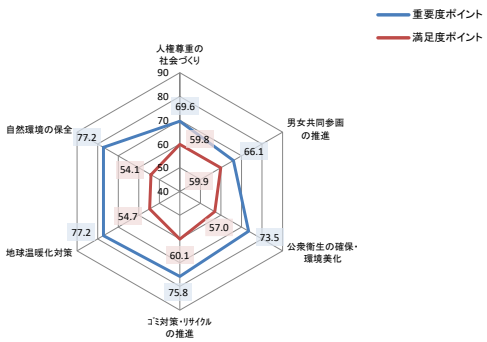


図 70 歳以上



オ 安全・安心

図 10 歳代

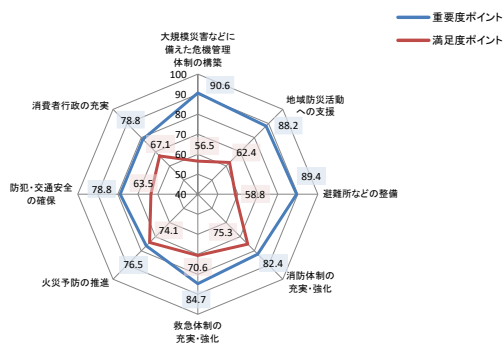


図 20 歳代

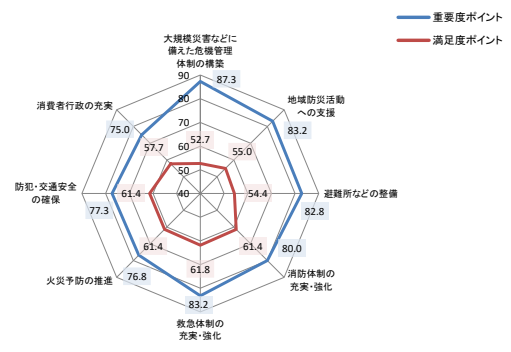


図 30 歳代

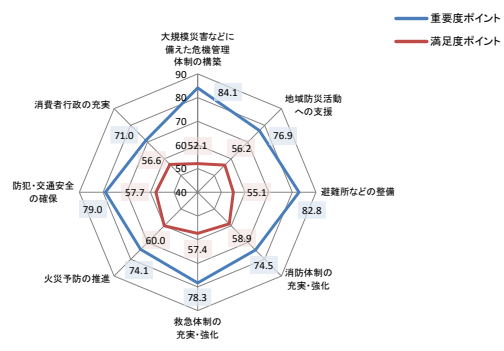


図 40 歳代

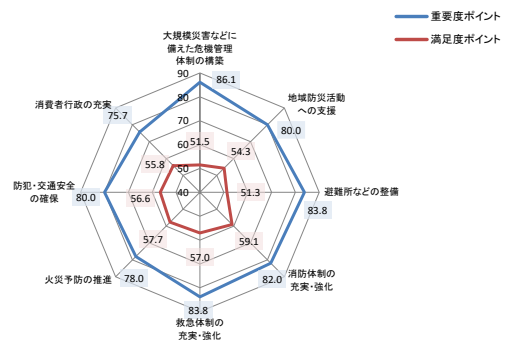


図 50 歳代

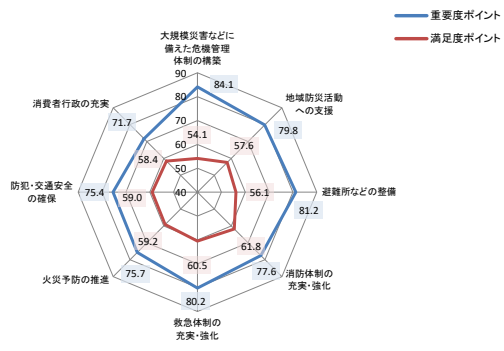


図 60 歳代

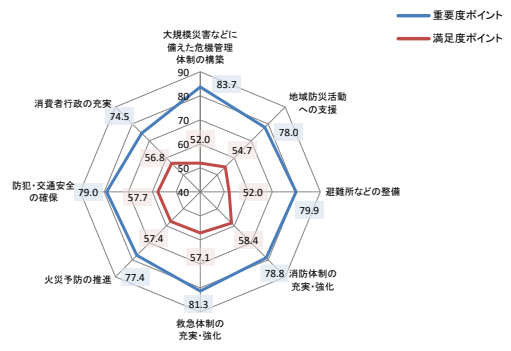
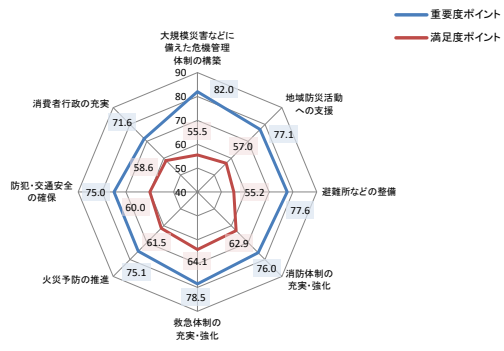


図 70 歳以上



カ 基盤

図 10 歳代

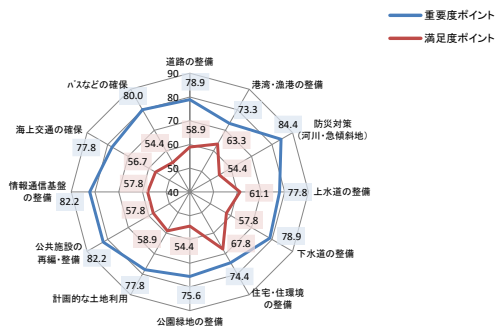


図 20 歳代

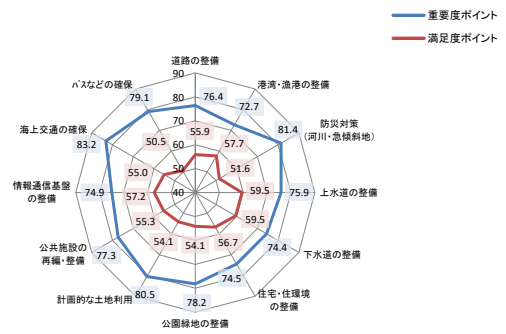


図 30 歳代

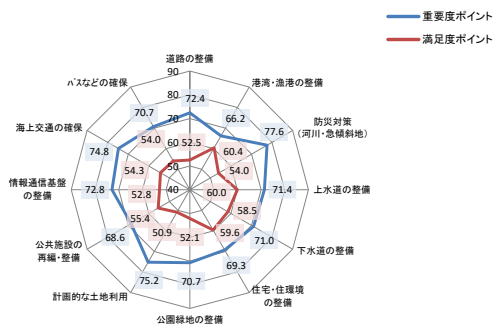


図 40 歳代

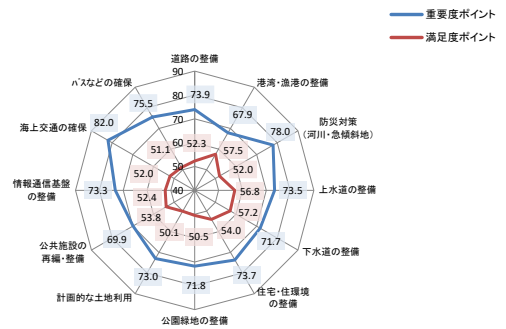


図 50 歳代

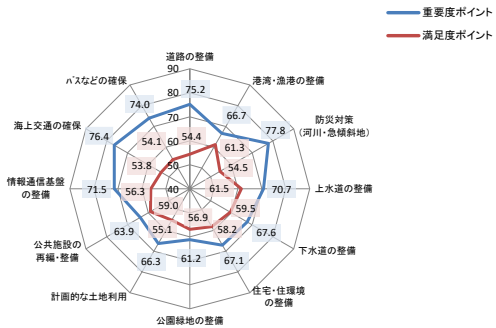


図 60 歳代

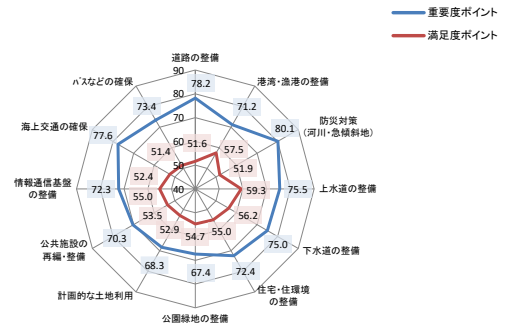
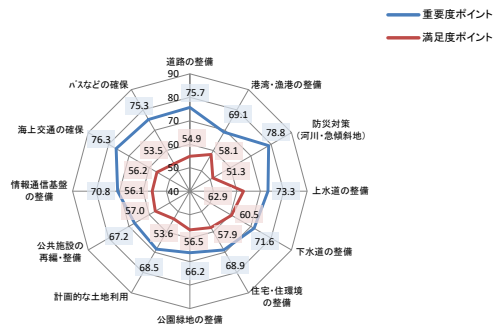


図 70 歳以上



キ 地域

図 10 歳代

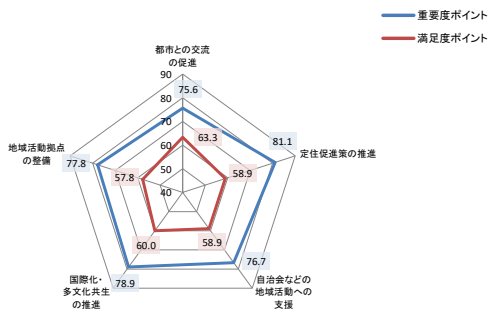


図 20 歳代

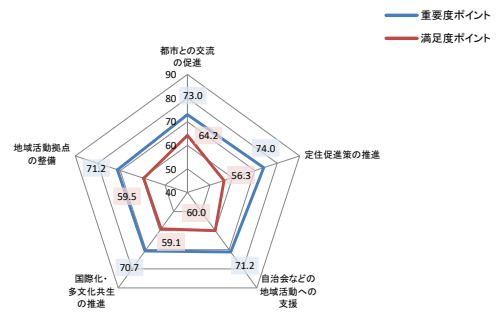


図 30 歳代

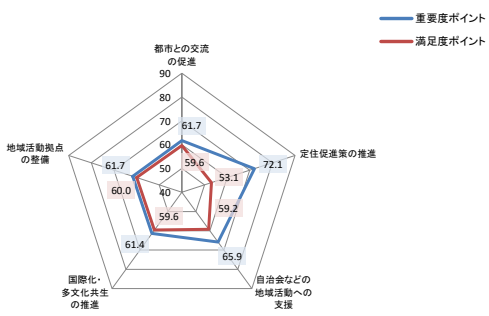


図 40 歳代

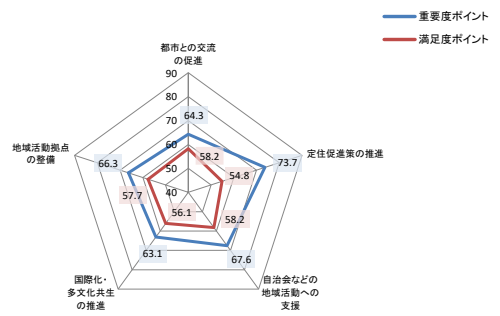


図 50 歳代

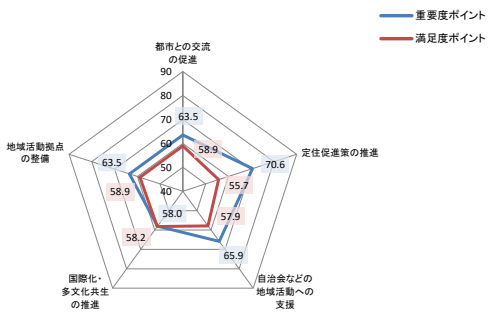


図 60 歳代

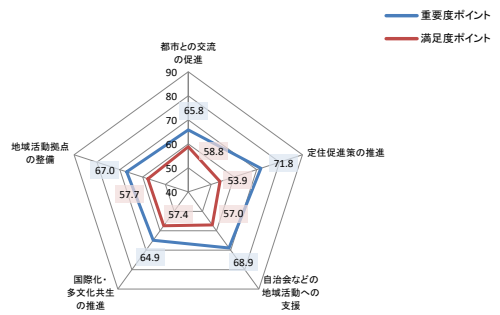
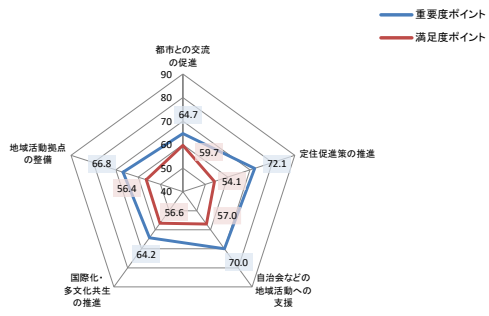


図 70 歳以上



ク その他・全般

図 10 歳代

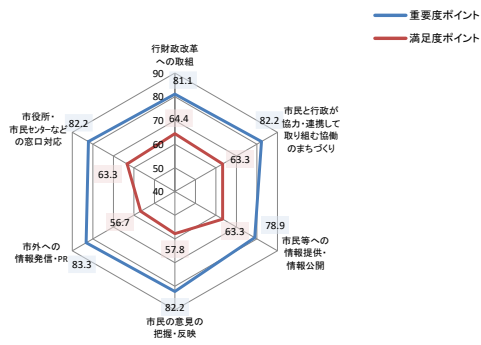


図 20 歳代

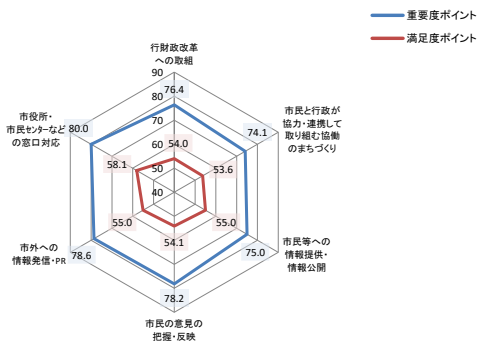


図 30 歳代

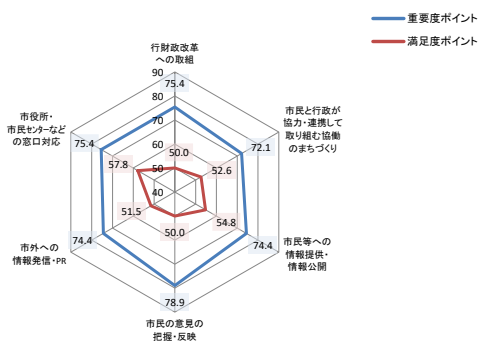


図 40 歳代

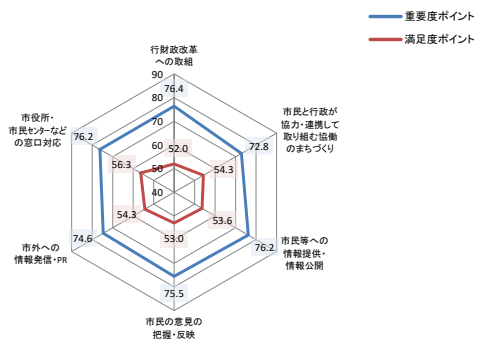


図 50 歳代

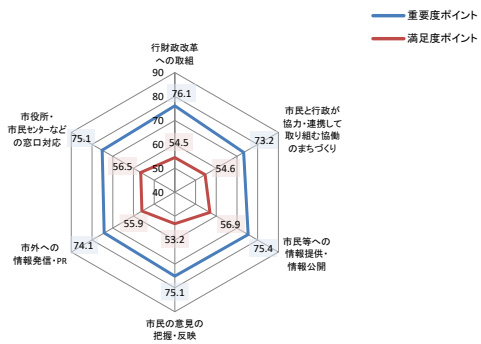


図 60 歳代

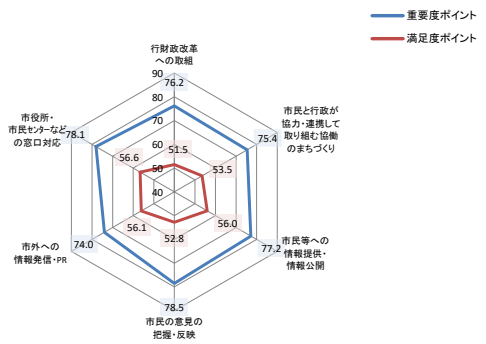
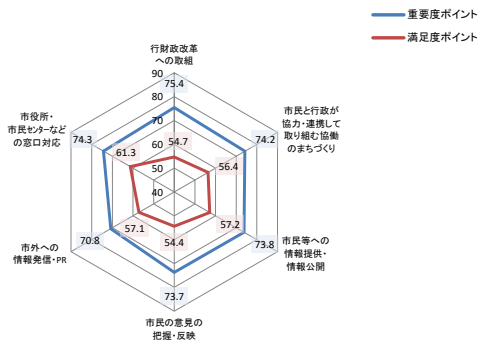


図 70 歳以上



第4 自由意見

アンケート調査の最後の問いである「3 その他（自由記入欄）」への記載について、記入件数は、以下のようになります。

<記載状況>

有効回収調査票678票のうち、自由記入欄に記載のあった調査票は244票で、記載率は36.0%となります。居住地別でみると、能美町の記事率が高くなっています。

表 自由意見の記載状況

区 分	回収数 (票)	記載票 (票)	記載率 (%)
江田島町	264	90	34.1
能美町	139	61	43.9
沖美町	82	30	36.6
大柿町	189	60	31.7
無回答	4	3	75.0
合 計	678	244	36.0

<記載分類>

記載された内容は、1調査票に複数の意見（内容）がある場合があるため、それらを意見ごとに整理すると、全体で343件となります。

記載内容を分類すると、「基盤」が83件で最も多くなっています。特に、交通（例 「高速船やフェリーの便数がこれ以上減ると困る。乗船料金も安くなってほしい。」）、整備（例 「道路や環境の整備がされていない部分がありますので、良くしてもらいたいです。」）に関する意見が多く、重要度ポイントと満足度ポイントの両方が平均値を下回っている部門（16ページ、「部門ごとの重要度ポイント、満足度ポイントの状況」参照）にもかかわらず、要望の意見は多くなっています。

次いで「生活・環境」が31件、「産業・観光」、 「アンケート関連」が29件などとなっています。

表 自由意見の記載分類

分 類	件 数
教育・文化	15
産業・観光	29
福祉・保健	24
生活・環境	31
安全・安心	14
基 盤	83
地 域	19
アンケート関連	29
広報・宣伝	13
行政サービス	16
行政運営	19
まちづくりの方向	17
現状への評価	13
その他意見等	21
合 計	343